

第 1 0 4 回安来市議会定例会

(令和 7 年・令和 8 年)

1 2 月定例会議議案

(条例関係等) 説明資料

番号	議案名	ページ
議第 3 号	公共施設使用料等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例制定について	1～40
議第 4 号	安来市立学校設置条例の一部を改正する条例制定について	41
議第 5 号	安来市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について	42
議第 7 号	松江圏都市計画(安来市都市計画)地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例制定について	43～46
議第 8 号	安来市火災予防条例及び安来市火入れに関する条例の一部を改正する条例制定について	47～50
議第 1 0 号	第 3 次安来市総合計画の基本構想を定めることについて	51～66

議第3号

公共施設使用料等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例制定について 説明資料 1

総務部財政課

■整理方針

- ・令和7年4月に策定した公共施設使用料等の見直しに関する基本方針に基づき見直しを検討し、料金の改定を行うこととした施設の対象条例について一括改正を行う。
- ・条例における各金額の規定は外税方式によるものとするが、周知に当たっては税込みの総額表示とする。

改正条番 (制定順)	条例題名	制定年 番 号	施設	施設の使用料等の内容	所管課	税額の端数処理	料金制	指定管理施設	特記事項
1	安来市広瀬町民会館設置及び管理に関する条例	平成16年 第113号	広瀬町民会館	広瀬町民会館使用料	広瀬地域センター	10円未満切捨て	使用料		
2	安来市広瀬町名誉町民顕彰館設置及び管理に関する条例	平成16年 第114号	広瀬町名 誉町民顕彰館	広瀬町名 誉町民顕彰館利用料金 (会議室、冷暖房)	広瀬地域センター	10円未満切捨て	利用料金	○	
3	安来市老人憩の家の設置及び管理に関する条例	平成16年 第137号	井尻 老人憩の家	老人憩の家使用料	地域振興課	10円未満切捨て	使用料		
4	安来市斎場の設置及び管理に関する条例	平成16年 第154号	斎場独松山霊苑	火葬、式場、霊安室、和室使用料	市民課	10円未満切捨て	使用料		
5	安来市農村環境改善センターの設置及び管理に関する条例	平成16年 第171号	農村環境改善センター (伯太中央交流センター、赤屋交流センター)	農村環境改善センター使用料 (伯太中央交流センター、赤屋交流センター)	地域振興課	10円未満切捨て	使用料		
6	安来市観光施設の使用及び管理に関する条例	平成16年 第182号	鷲の湯公園、清水展望台公園	鷲の湯公園、清水展望台公園電柱等占用料	観光振興課	10円未満切捨て	使用料		占用料の額は安来市道占用料徴収条例(平成16年安来市条例第191号)の額とする。
7	安来市やすぎ懷古館一風亭の設置及び管理に関する条例	平成16年 第251号	やすぎ懷古館一風亭	やすぎ懷古館一風亭利用料金	定住産業課	10円未満切捨て	利用料金	○	
8	安来市加納美術館条例	平成17年 第40号	加納美術館	加納美術館入館料	文化課	10円未満切捨て	利用料金	○	入館料は、大学生を一般の半額とし、高校生以下を無料化する。
9	安来市文化学習施設条例	平成17年 第41号	文化学習施設 (母里交流センター)	文化学習施設使用料 (母里交流センター)	地域振興課	10円未満切捨て	使用料		
10	安来市社会体育施設条例	平成17年 第42号	社会体育施設 (安来球場、安来西部球場、安来南体育館、広瀬体育館、伯太体育館、伯太運動広場)	野球場、体育館等使用料	地域振興課	10円未満切捨て	使用料	○ (伯太運動広場のみ)	
11	安来市山佐ダム体験交流施設条例	平成17年 第50号	山佐ダム体験交流施設	コテージやまびこ利用料金	観光振興課	10円未満切捨て	利用料金	○	

改正条番 (制定順)	条例題名	制定年 番 号	施設	施設の使用料等の内容	所管課	税額の端数処理	料金制	指定管理 施設	特記事項
12	安来市都市公園条例	平成17年 第54号	都市公園 (安来公園(市民体育館)、安来運動公園、広瀬中央公園)	市民体育館、安来運動公園、広瀬中央公園使用料	地域振興課	10円未満切捨て	使用料	○	
13	安来市安来館演芸館条例	平成17年 第72号	安来館演芸館	安来館演芸館利用料金等 (施設、設備、入場料)	観光振興課	10円未満切捨て	利用料金	○	冷暖房利用時の割増し加算を廃止する。
14	安来市湯田山荘条例	平成18年 第26号	湯田山荘	湯田山荘利用料金 (宿泊、休憩・研修室、入浴)	観光振興課	10円未満切捨て	利用料金	○	宿泊利用料金に団体割引を新設する。
15	安来市交流センター条例	平成19年 第9号	中央交流センター、地区交流センター (安来・広瀬中央交流センター、地区交流センター (母里、赤屋を除く))	交流センター使用料、冷暖房使用料	地域振興課	10円未満切捨て	使用料		
16	安来市観光交流プラザ条例	平成19年 第26号	観光交流プラザ アラエッサ♪ YASUGI	観光交流プラザ利用料金 (有料施設等)	観光振興課	10円未満切捨て	利用料金	○	
17	安来市学習訓練センター条例	平成22年 第31号	安来市学習訓練センター	学習訓練センター利用料金 (有料施設、事務室)	定住産業課	10円未満切捨て	利用料金	○	
18	安来市道の駅あらエッサ条例	平成22年 第32号	道の駅あらエッサ	道の駅あらエッサ占用施設使用料 (多目的広場、多目的施設)	観光振興課	10円未満切捨て	使用料		
19	安来市和鋼博物館条例	平成24年 第8号	和鋼博物館	和鋼博物館入館料 (展示物等観覧、施設使用)	文化課	10円未満切捨て	使用料		入館料は、大学生を一般の半額とし、高校生以下を無料化する。
20	安来市立歴史資料館条例	平成24年 第11号	安来市立歴史資料館	歴史資料館入館料	文化課	10円未満切捨て	使用料		入館料は、大学生を一般の半額とし、高校生以下を無料化する。
21	安来市三日月公園ふれあい館条例	平成24年 第15号	三日月公園ふれあい館	特産品販売所使用料	広瀬地域センター	10円未満切捨て	使用料		
22	安来市総合文化ホール条例	平成27年 第37号	安来市総合文化ホール	アルテピア利用料金 (有料施設等)	文化課	10円未満切捨て	利用料金	○	
23	安来市広瀬温泉月山の湯憩いの家条例	令和3年 第12号	憩いの家	広瀬温泉月山の湯憩いの家利用料金	観光振興課	10円未満切捨て	利用料金	○	

議第3号

公共施設使用料等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例制定について 説明資料2

総務部財政課

料金改定する主な施設

※金額については、使用料又は利用料金の基準額に消費税額（地方消費税を含む。）を含め端数調整した額を掲載しています。

改定：令和8年4月1日～

条番	施設名	料金 円（税込）			担当課	問い合わせ ☎	税込後 増加率
		主な種目	現行	改定後			
1	広瀬町民会館	表の上/非営利目的/1時間	100	130	広瀬地域センター	23-3200	130%
2	広瀬町名誉町民顕彰館	会議室/1時間	100	130			130%
3	井尻老人憩の家	和室/18畳/半日	990	1,480	地域振興課	23-3070	149%
4	斎場独松山霊苑	火葬/12歳以上/1体 （関係区域住民） （関係区域住民以外）	10,000 50,000	12,000 60,000	市民課	23-3080	120%
5	伯太中央交流センター（わかさ会館）	小会議室/非営利目的/1時間	110	160	地域振興課	23-3070	145%
	赤屋交流センター	小会議室/営利目的/1時間	550	820			149%
6	鷺の湯公園、清水展望台公園	占用（第1種電柱）/1本/1年	620	693	観光振興課	23-3108	112%
7	やすぎ懐古館一風亭	各室/1時間	310	350	定住産業課	23-3105	113%
8	加納美術館	入館料/高校生以下	520	無料	文化課	23-3186	0%
9	母里交流センター（はくた文化学習館）	会議室/営利目的/1時間	550	820	地域振興課	23-3070	149%
10	安来球場、安来西部球場	スポーツ利用/入場料未徴収/ 一般利用/1時間	550	710	地域振興課	23-3075	129%
	安来南体育館		550	710			129%
	広瀬体育館		270	350			130%
	伯太体育館		820	1,070			130%
	伯太運動広場		880	1,140			130%
11	山佐ダム体験交流施設	宿泊/1棟/1泊	8,380	9,900	観光振興課	23-3111	118%
12	安来公園（市民体育館）	競技場/アマチュアスポーツ利用/入場料未徴収/一般利用/占用使用/1時間	1,650	2,140	地域振興課	23-3075	130%
	安来運動公園	庭球場/コート1面/一般利用/1時間	380	500			132%
	広瀬中央公園	総合体育館/大体育室/アマチュアスポーツ利用/入場料未徴収/一般利用/占用使用/1時間	1,010	1,310			130%
13	安来節演芸館	ホール/平日/非営利目的/ 午前9時～午後10時	31,500	37,730	観光振興課	23-3111	120%
14	湯田山荘	宿泊/和室/1泊/1人	5,020	6,600			131%
15	安来中央交流センター	青年研修室/非営利目的/1時間	220	330	地域振興課	23-3070	150%
	広瀬中央交流センター		110	160			145%
	地区交流センター（赤屋、母里を除く）	会議室・研修室等/営利目的/1時間	550	820			149%
16	観光交流プラザ	ステーションギャラリー/ 営利目的/1時間	2,200	3,300	観光振興課	23-3108	150%
17	学習訓練センター	実習室/非営利目的/午前9時～午後5時/1時間	1,040	1,570	定住産業課	23-3104	151%
18	道の駅あらエッサ	多目的施設/営利目的/1日	1,670	2,200	観光振興課	23-3111	132%
19	和鋼博物館	入館料/一般	310	460	和鋼博物館	23-2500	148%
20	歴史資料館		210	300	文化課	23-3185	143%
21	三日月公園ふれあい館	特産品販売所/営利目的/1時間	150	200	広瀬地域センター	23-3200	133%
22	安来市総合文化ホール	小ホール/ホール/午前9時～正午	7,590	9,860	文化課	23-3039	130%
23	憩いの家	入浴/大人/1人	520	550	観光振興課	23-3111	106%

第 1 条関係 (安来市広瀬町民会館設置及び管理に関する条例の一部改正)

(改正部分)

改 正 後		改 正 前	
別表(第9条関係) 町民会館使用料		別表(第9条関係) 町民会館使用料	
区分	金額(1時間当たり)		暖房使用時加算額(1時間当たり)
	非営利目的	営利目的	
表の上	円 124	円 322	円 185
表の下	124	384	185
中の間	124	260	185
裏室	124	185	185
裏の間(別館)	124	185	185
〔略〕		〔略〕	
備考 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。		備考 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。	

第2条関係（安来市広瀬町名誉町民顕彰館設置及び管理に関する条例の一部改正）

（ 改正部分）

改 正 後		改 正 前	
別表(第11条関係)		別表(第11条関係)	
区分	金額	区分	金額
会議室	1時間 124円	1時間	96円
冷暖房費	1時間 124円	1時間	96円
備考 利用料金の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。		備考 利用料金の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。	

第3条関係（安来市老人憩の家の設置及び管理に関する条例の一部改正）

（ 改正部分）

改 正 後		改 正 前	
別表(第3条関係)		別表(第3条関係)	
区分	金額	区分	金額
和室	8畳 600円	8畳	半日以内 400円
和室	18畳 1,350円	18畳	半日以内 900円
備考 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。		備考 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。	

第4条関係（安来市斎場の設置及び管理に関する条例の一部改正）

（ _____ 改正部分）

改 正 後						改 正 前					
別表(第6条関係)						別表(第6条関係)					
種別	区分	単位	使用料(円)		備考	種別	区分	単位	使用料(円)		備考
			関係区域 住民	関係区域 住民以外					関係区域 住民	関係区域 住民以外	
火葬	12歳以上	1体	12,000	60,000		火葬	12歳以上	1体	10,000	50,000	
	12歳未満	1体	6,000	30,000			12歳未満	1体	5,000	25,000	
	死産児	1体	4,000	20,000			死産児	1体	4,000	20,000	
	改葬遺骸、改葬焼骨	1件	3,000	15,000			埋葬した遺体	1体	7,000	35,000	
	手術肢体、胎盤、産汚物	1個	4,000	20,000	〔略〕		手術肢体、胎盤、産汚物	1個	2,700	13,500	
式場		1回	7,000	14,000	1回とは3時間以内とする(準備あと片づけを含む)。これを超える場合は、1回分の使用料を加算する。	式場		1回	6,667	13,334	1回とは3時間以内とする(準備あと片づけを含む)。これを超える場合は、1時間当たり953円を加算する。
霊安室		1回	5,000	10,000	1回とは24時間以内とする。これを超える場合は、1回分の使用料を加算する。	霊安室		1回	2,858	5,715	1回とは24時間以内とする。これを超える場合は、1時間当たり96円を加算する。
和室		1回	7,000	14,000	1回とは3時間以内とする(準備あと片づけを含む)。これを超える場合は、1回分の使用料を加算する。	和室		1室につき	1,905	3,810	1回とは3時間以内とする(準備あと片づけを含む)。これを超える場合は、1時間当たり477円を加算する。
備考						備考					

<p>消費税法 (昭和63年法律第108号) 別表第2第9号により非課税とされるものを除くものについての使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額 (当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額) とする。</p>	<p>1 式場・霊安室・和室の利用については、1 時間に満たない場合はこれを1 時間とみなす。</p> <p>2 消費税法 (昭和63年法律第108号) 別表第1第9号により非課税とされるものを除くものについての使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額 (当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額) とする。</p>
---	---

第5条関係 (安来市農村環境改善センターの設置及び管理に関する条例の一部改正)

(改正部分)

改 正 後				改 正 前			
別表(第8条関係) センター使用料				別表(第8条関係) センター使用料			
区分		金額(1時間当たり)		金額(1時間当たり)		冷暖房使用時加	
		第3条第1項に規定する事業を行うとき	第3条第2項に規定する事業を行うとき	第3条第1項に規定する事業を行うとき	第3条第2項に規定する事業を行うとき	算額(1時間当たり)	
伯太農村 環境改善 メインセンター	大集会室	円 900	円 4,500	円 600	円 3,000	円 400	
	大会議室	300	3,000	300	2,000	200	
	教養室	300	3,000	300	2,000	200	
	小会議室	150	1,500	100	1,000	200	
	農産加工実習室	750	3,000	500	2,000	200	
	ロビー・その他	150	1,500	100	1,000	200	
伯太農村 環境改善 サブセンター	多目的ホール	無料	1,500	無料	1,000	400	
	小会議室	無料	750	無料	500	200	
	教養娯楽室	無料	750	無料	500	200	
	農事研修室	無料	750	無料	500	200	
	調理実習室	無料	1,500	無料	1,000	200	

備考 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を加えた額(当該額に 10 円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。

備考 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を加えた額(当該額に 10 円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。

改 正 後	改 正 前																		
<p>(<u>占用料の額及び納付</u>)</p> <p>第4条 安来市観光施設を占用する者は、<u> </u> 占用料を納付しなければならぬ。</p> <p>2 <u> </u> 占用料の額は、安来市道占用料徴収条例(平成16年安来市条例第191号)第2条の規定を準用して算出した額とする。</p> <p>3 <u> </u> <u>〔略〕</u></p>	<p>(<u>占用料</u> <u>及び納付</u>)</p> <p>第4条 安来市観光施設を占用する者は、<u>別表に掲げる額の</u> 占用料を納付しなければならぬ。</p> <p>2 <u> </u> <u>〔略〕</u></p> <p><u>別表(第4条関係)</u></p> <p><u>施設の占用料</u></p> <table><tr><th></th><th>区 分</th><th>単 位</th><th>金 額</th></tr><tr><td rowspan="3">占用行為</td><td>電柱</td><td>1本1年につき</td><td>570円</td></tr><tr><td>線類</td><td>1メートル1年につき</td><td>40円</td></tr><tr><td>その他の占用物件</td><td>き</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>その都度市長が定める額</td><td></td></tr></table>		区 分	単 位	金 額	占用行為	電柱	1本1年につき	570円	線類	1メートル1年につき	40円	その他の占用物件	き				その都度市長が定める額	
	区 分	単 位	金 額																
占用行為	電柱	1本1年につき	570円																
	線類	1メートル1年につき	40円																
	その他の占用物件	き																	
		その都度市長が定める額																	
<p><u>備考</u></p> <p>1 年額をもって定める占用料で、<u>占用の期間が1年未満のもの又は1年未満の端数は、月割りによって計算する。</u></p> <p>2 占用料の額の基礎となる占用の長さで、1メートル未満のもの又は1メートル未満の端数は、1メートルとして計算する。</p> <p>3 消費税法(昭和63年法律第108号)別表第1第1号により非課税とされるものを除くものについての<u>占用料の額は、この表に掲げる額に消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。</u></p>																			

第7条関係（安来市やなぎ懐古館一風亭の設置及び管理に関する条例の一部改正）

（ 改正部分）

改 正 後		改 正 前	
別表(第8条関係)		別表(第8条関係)	
利用料金基準額(1室1時間当たり)		利用料金基準額(1室1時間あたり)	
区分	金額	区分	金額
和室	円 319	和室	円 286
展示室	319	展示室	286
見世板間	319	見世板間	286
茶室	319	茶室	286
見世蔵	319	見世蔵	286
米蔵2階洋室	319	米蔵2階洋室	286
駐車場2階洋室	319	駐車場2階洋室	286
附属設備	規則で定める額(備考は適用しない。)		
備考		備考	
<p>1 基準額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。</p>		<p>1 基準額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。</p>	
2 〔略〕		2 〔略〕	
<p>3 利用料金の徴収に当たり、利用時間に1時間未満の端数があるときは、当該端数は1時間とみなして利用料金を算定する。</p>			

改 正 後		改 正 前	
別表(第7条関係) 入館料の基準額		別表(第7条関係) 入館料の基準額	
区分	個人	個人	団体(20人以上)
一般	円 9531人につき	円 9531人につき	円 762
大学生	4771人につき	4771人につき	381
高校生以下	無料	無料	無料
<p>備考 1 基準額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。</p> <p>2 高校生以下及び大学生には、それぞれこれらの者に準ずるものを含むものとする。</p>		<p>備考 基準額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。</p>	

第9条関係（安来市文化学習施設条例の一部改正）

（ 改正部分）

改 正 後				改 正 前			
別表（第8条、第10条関係） 学習施設使用料				別表（第8条、第10条関係） 学習施設使用料			
区分	金額（1時間当たり）		冷暖房使用時加算額 （1時間当たり）	区分	金額（1時間当たり）		冷暖房使用時加算額 （1時間当たり）
	営利を目的としな いとき	営利を目的とする とき			営利を目的としな いとき	営利を目的とする とき	
会議室	無料	円	円	会議室	無料	円	円
調理室	無料	750	300	調理室	無料	500	200
研修室	無料	1,500	300	研修室	無料	1,000	200
和室	無料	750	300	和室	無料	500	200
視聴覚ホール	無料	750	300	視聴覚ホール	無料	500	200
		1,500	600			1,000	400
備考 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額（当該額に 10 円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額）とする。				備考 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額（当該額に 10 円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額）とする。			

第10条関係 (安来市社会体育施設条例の一部改正)

(改正部分)

改 正 後		改 正 前	
別表第2(第8条関係) 安来球場及び安来西部球場使用料		別表第2(第8条関係) 安来球場及び安来西部球場使用料	
区分		区分	
スポーツに使用する場合	入場料を徴収しない場合	中学生以下	金額(1時間当たり) 円
		高校生	250
		一般	330
			500
入場料を徴収する場合		中学生以下	500
		高校生	650
		一般	995
			995
スポーツ以外の使用の場合	営利宣伝を目的とする場合	営利宣伝を目的とする場合	4,960
備考		備考	
1 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。		1 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。	
2～5 [略]		2～5 [略]	
別表第3(第8条関係) 安来南体育館使用料		別表第3(第8条関係) 安来南体育館使用料	

区分		金額(1時間当たり)	
		昼間(9時から18時まで)	夜間(18時から22時まで)
スポーツに使用する場合	入場料を徴収しない場合	円	円
	中学生以下	325	487
	高校生	429	650
	一般	650	975
	中学生以下	650	975
入場料を徴収する場合	高校生	845	1,293
	一般	1,293	1,937
	営利宣伝を目的としない場合	1,293	1,937
スポーツ以外の使用の場合	営利宣伝を目的とする場合	6,448	9,659

備考

- 1 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。

2～7 [略]

別表第4(第8条関係)

広瀬体育館使用料

区分		金額(1時間当たり)	
		昼間(9時から18時まで)	夜間(18時から22時まで)
スポーツに使用する場合	入場料を徴収しない場合	円	円
	中学生以下	162	240
	高校生	214	325

区分		金額(1時間当たり)	
		昼間(9時から18時まで)	夜間(18時から22時まで)
スポーツに使用する場合	入場料を徴収しない場合	円	円
	中学生以下	250	375
	高校生	330	500
	一般	500	750
	中学生以下	500	750
入場料を徴収する場合	高校生	650	995
	一般	995	1,490
	営利宣伝を目的としない場合	995	1,490
スポーツ以外の使用の場合	営利宣伝を目的とする場合	4,960	7,430

備考

- 1 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。

2～7 [略]

別表第4(第8条関係)

広瀬体育館使用料

区分		金額(1時間当たり)	
		昼間(9時から18時まで)	夜間(18時から22時まで)
スポーツに使用する場合	入場料を徴収しない場合	円	円
	中学生以下	125	185
	高校生	165	250

	一般	325	487
入場料を徴収する場合	中学生以下	325	487
	高校生	429	650
	一般	650	975
スポーツ以外	営利宣伝を目的としない場合	650	975
の使用の場合	営利宣伝を目的とする場合	3, 224	4, 836

備考

- 1 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。

2～7 [略]

別表第5(第8条関係)

伯太体育館使用料

区分	金額(1時間当たり)	
	昼間(9時から18時まで)	夜間(18時から22時まで)
スポーツに使用する場合	中学生以下	円 487
	高校生	650
	一般	975
		1, 456
入場料を徴収しない場合	中学生以下	975
	高校生	1, 293
	一般	1, 937
入場料を徴収する場合	中学生以下	975
	高校生	1, 937
	一般	2, 899
スポーツ以外	営利宣伝を目的としない場合	1, 937
		2, 899

	一般	250	375
入場料を徴収する場合	中学生以下	250	375
	高校生	330	500
	一般	500	750
スポーツ以外	営利宣伝を目的としない場合	500	750
の使用の場合	営利宣伝を目的とする場合	2, 480	3, 720

備考

- 1 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。

2～7 [略]

別表第5(第8条関係)

伯太体育館使用料

区分	金額(1時間当たり)	
	昼間(9時から18時まで)	夜間(18時から22時まで)
スポーツに使用する場合	中学生以下	円 375
	高校生	500
	一般	750
		1, 120
入場料を徴収しない場合	中学生以下	750
	高校生	995
	一般	1, 490
入場料を徴収する場合	中学生以下	750
	高校生	995
	一般	1, 490
スポーツ以外	営利宣伝を目的としない場合	1, 490
		2, 230

の使用の場合		営利宣伝を目的とする場合	9, 659	14, 495
備考				
<p>1 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。</p>				
2～7 〔略〕				
別表第6(第8条関係)				
伯太運動広場使用料				
		区分	金額(1時間当たり)	
多目的広場	スポーツに使用する場合	入場料を徴収しない場合	中学生以下	円
			高校生	520
			一般	695
	入場料を徴収する場合		中学生以下	1, 040
			高校生	1, 391
			一般	2, 080
夜間照明(多目的広場)	スポーツ以外使用の場合	営利宣伝を目的とする場合	2, 080	
	営利宣伝を目的とする場合		10, 400	
夜間照明(多目的広場)			30分当たり	3, 354
備考				
<p>1 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。</p>				

の使用の場合		営利宣伝を目的とする場合	7, 430	11, 150
備考				
<p>1 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。</p>				
2～7 〔略〕				
別表第6(第8条関係)				
伯太運動広場使用料				
		区分	金額(1時間当たり)	
多目的広場	スポーツに使用する場合	入場料を徴収しない場合	中学生以下	円
			高校生	400
			一般	535
	入場料を徴収する場合		中学生以下	800
			高校生	1, 070
			一般	1, 600
夜間照明(多目的広場)	スポーツ以外使用の場合	営利宣伝を目的としない場合	1, 600	
	営利宣伝を目的とする場合		8, 000	
夜間照明(多目的広場)			30分当たり	2, 580
備考				
<p>1 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。</p>				

額)とする。 2～6 [略]	額)とする。 2～6 [略]
-------------------	-------------------

第 1 1 条関係 (安来市山佐ダム体験交流施設条例の一部改正)

(改正部分)

改 正 後	改 正 前																				
<div>別表(第9条関係)</div> <div>有料施設等利用料金の基準額</div> <table><thead><tr><th colspan="2">区分</th><th>金額</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">コテージやまびこ1号棟及び2号棟</td><td>1棟1泊泊</td><td>9,000円</td></tr><tr><td>布団1人当たり</td><td>850</td></tr><tr><td>休憩</td><td>1,000</td></tr></tbody></table> <div>備考 基準額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。</div>	区分		金額	コテージやまびこ1号棟及び2号棟	1棟1泊泊	9,000円	布団1人当たり	850	休憩	1,000	<div>別表(第9条関係)</div> <div>有料施設等利用料金の基準額</div> <table><thead><tr><th colspan="2">区分</th><th>金額</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">コテージやまびこ1号棟及び2号棟</td><td>1棟1泊泊</td><td>7,620円</td></tr><tr><td>布団1人当たり</td><td>572</td></tr><tr><td>休憩</td><td>953</td></tr></tbody></table> <div>備考 基準額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。</div>	区分		金額	コテージやまびこ1号棟及び2号棟	1棟1泊泊	7,620円	布団1人当たり	572	休憩	953
区分		金額																			
コテージやまびこ1号棟及び2号棟	1棟1泊泊	9,000円																			
	布団1人当たり	850																			
	休憩	1,000																			
区分		金額																			
コテージやまびこ1号棟及び2号棟	1棟1泊泊	7,620円																			
	布団1人当たり	572																			
	休憩	953																			

第 1 2 条関係 (安来市都市公園条例の一部改正)

(改正部分)

改 正 後		改 正 前	
<p>(市民プールに関する管理等の特例)</p> <p>第 24 条の 2 市民プールについては、第 3 条から第 12 条まで及び第 15 条から前条までの規定は適用しないものとし、市民プールの管理等に関する事項については、別に条例で定める。</p> <p>別表第3(第16条関係)</p> <p>安来公園(市民体育館)使用料</p>		<p>(市民プールに関する管理等の特例)</p> <p>第 24 条の 2 市民プールについては、第 3 条から第 12 条まで及び第 15 条から第 24 条までの規定は適用しないものとし、市民プールの管理等に関する事項については、別に条例で定める。</p> <p>別表第3(第16条関係)</p> <p>安来公園(市民体育館)使用料</p>	
施設の名称	区分	金額(1時間当たり)	
競技場	アマチュアスポーツに使用する場	入場料を徴収しない場合	個人使用の場合(1人当たり)
		中学生以下	円
	入場料を徴収しない場合	高校生	円
		一般	円
	入場料を徴収する場	合	円
格技場	アマチュアスポーツに使用する場	入場料を徴収しない場合	個人使用の場合(1人当たり)
		中学生以下	円
	入場料を徴収しない場合	高校生	円
		一般	円
	入場料を徴収する場	合	円

	アスポートに使用する場合	徴収しない場合	高校生	520	91
			一般	780	130
トレーニング室	高校生			1,248	1回の使用につき 253
	一般				1回の使用につき 377
研修室				520	
選手控室	アマチュアスポーツに使用する場合			377	
				500	

備考

- 1 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。

2～8 〔略〕

- 9 冷暖房使用料の額は、次の表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。

施設の名称	金額(1時間当たり)
競技場	円 9,906
格技場・選手控室	1,300
研修室	650

- 10 競技場の使用に伴い、照明設備を使用するときは1時間当たり照明灯1

	アススポーツに使用する場合		徴収しない場合	高校生 一般	400	70
					600	100
トレーニング室	高校生				960	1回の使用につき 195
	一般					1回の使用につき 290
研修室					400	
選手控室	アマチュアスポーツに使用する 場合				290	
	会議に使用する場合				385	

備考

- 1 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。

2～8 〔略〕

- 9 冷暖房使用料の額は、次の表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。

施設の名称	金額(1時間当たり)
競技場	円 7,620
格技場・選手控室	1,000
研修室	500

- 10 競技場の使用に伴い、照明設備を使用するときは1時間当たり照明灯1

セット62円に消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)を、格技場の使用に伴い照明設備を使用するときは1時間当たり当該占用使用料の5割を加算する。

11 〔略〕

12 トレーニング室を個人で使用する場合は、回数券(11枚つづり)を発行し使用させることができるとし、その額は、次の表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)に10を乗じて得た額とする。

区分	金額
高校生	円 253
一般	377

13・14 〔略〕

別表第4(第16条関係)

安来運動公園使用料

施設の名称	区分	金額(1時間当たり)(占用使用の場合)
野球場	グラウンド	円 650
		871
		1,300
	入場料を徴収する場合	26,000
	会議室	260

セット48円に消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)を、格技場の使用に伴い照明設備を使用するときは1時間当たり当該占用使用料の5割を加算する。

11 〔略〕

12 トレーニング室を個人で使用する場合は、回数券(11枚つづり)を発行し使用させることができるとし、その額は、次の表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)に10を乗じて得た額とする。

区分	金額
高校生	円 195
一般	290

13・14 〔略〕

別表第4(第16条関係)

安来運動公園使用料

施設の名称	区分	金額(1時間当たり)(占用使用の場合)
野球場	グラウンド	円 500
		670
		1,000
	入場料を徴収する場合	20,000
	会議室	200

陸上競技場	トラック及びフィールド	中学生以下	520
		高校生	695
		一般	1, 040
	会議室		260
庭球場	コート(1面につき)	中学生以下	227
		高校生	299
		一般	455
	会議室		260
夜間照明(1面につき)		390	

備考

- 1 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。

2～11 [略]

別表第5(第16条関係)

広瀬中央公園使用料

施設 名称	区分		金額(1時間当たり)	
			占有使用の 場合	個人使用の場 合(1人当た り)
野球場	グラウン ド	入場料を徴収しな い場合	円	
			650	
			871	
			1,300	
	入場料を徴収する場合		26,000	

陸上競技場	トラック及びフィールド	中学生以下	400
		高校生	535
		一般	800
	会議室		200
庭球場	コート(1面につき)	中学生以下	175
		高校生	230
		一般	350
	会議室		200
夜間照明(1面につき)		300	

備考

- 1 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。

2～11 [略]

別表第5(第16条関係)

広瀬中央公園使用料

施設 名称	区分		金額(1時間当たり)	
			占有使用の 場合	個人使用の場 合(1人当た り)
野球場	グラウン ド	入場料を徴収しな い場合	円	
			500	
			670	
			1,000	
	入場料を徴収する場合		20,000	

	夜間照明(1基につき)				30分当たり 598	
総合体育館	大体育室	アマチュアスポーツに使用する場合	入場料を徴収しない場合	中学生以下	598	円
				高校生	793	91
				一般	1,196	130
				入場料を徴収する場合	5,954	
				合		
	アマチュアスポーツ以外の催しもの	入場料を徴収する場合	入場料を徴収しない場合	営利宣伝を目的としな	4,277	
				い場合		
				営利宣伝を目的としな	8,320	
				い場合		
				営利宣伝を目的とす	19,019	
庭球場	コート(1面につき)			入場料を徴収する場合		
				合		
				入場料を徴収する場合	130	
				合	130	
				入場料を徴収する場合	130	
陸上競技場	トラック及びフィールド			中学生以下	377	
				高校生	500	
				一般	754	
				入場料を徴収する場合		
				合		

備考

- 1 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた

	夜間照明(1基につき)				30分当たり 460	
総合体育館	大体育室	アマチュアスポーツに使用する場合	入場料を徴収しない場合	中学生以下	460	円
				高校生	610	70
				一般	920	100
				入場料を徴収する場合	4,580	
				合		
	アマチュアスポーツ以外の催しもの	入場料を徴収する場合	入場料を徴収しない場合	営利宣伝を目的としな	3,290	
				い場合		
				営利宣伝を目的としな	6,400	
				い場合		
				営利宣伝を目的とす	14,630	
庭球場	コート(1面につき)			入場料を徴収する場合		
				合		
				入場料を徴収する場合	100	
				合	100	
				入場料を徴収する場合	100	
陸上競技場	トラック及びフィールド			中学生以下	290	
				高校生	385	
				一般	580	
				入場料を徴収する場合		
				合		

備考

- 1 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた

<p>額)とする。</p> <p>2～9 〔略〕</p>													
<p>10 総合体育館の照明使用料の額は、次の表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。ただし、大体育室を分割して使用することに伴い照明を分割して使用する場合は、それぞれ面積割合により算出した額とする。</p>	<p>10 総合体育館の照明使用料の額は、次の表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。ただし、大体育室を分割して使用することに伴い照明を分割して使用する場合は、それぞれ面積割合により算出した額とする。</p>												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>金額(1時間当たり)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大体育室</td><td>円 820</td></tr> <tr> <td>観客席</td><td><u>175</u></td></tr> </tbody> </table>	区分	金額(1時間当たり)	大体育室	円 820	観客席	<u>175</u>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>金額(1時間当たり)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大体育室</td><td>円 1,066</td></tr> <tr> <td>観客席</td><td><u>227</u></td></tr> </tbody> </table>	区分	金額(1時間当たり)	大体育室	円 1,066	観客席	<u>227</u>
区分	金額(1時間当たり)												
大体育室	円 820												
観客席	<u>175</u>												
区分	金額(1時間当たり)												
大体育室	円 1,066												
観客席	<u>227</u>												
<p>11～13 〔略〕</p>	<p>11～13 〔略〕</p>												

第 1 3 条 関係 (安来市安来節演芸館条例の一部改正)

(改正部分)

改 正 後			改 正 前																																																			
<div>(利用料金及び入場料金)</div> <div>第 10 条 〔略〕</div> <div>第 2 〔略〕</div> <div>第 3 利用料金等は、別表第 1 及び別表第 2 に掲げる基準額に 0.8 を乗じて得た額から当該基準額に 1.2 を乗じて得た額までの範囲内の額で、指定管理者が市長の承認を受けて定める額とする。</div> <div>別表第1(第10条関係)</div> <div>施設利用料金の基準額</div> <table><tr><th>区分</th><th>午前9時 ～正午</th><th>午後1時 ～午後5時</th><th>午後6時 ～午後10時</th><th>午前9時 ～午後5時</th><th>午後1時 ～午後10時</th><th>午前9時 ～午後10時</th></tr><tr><td>ホール(楽屋を含む。)</td><td>円 10,300</td><td>円 13,600</td><td>円 17,200</td><td>円 20,500</td><td>円 27,200</td><td>円 34,300</td></tr><tr><td>練習室(1室当たり)</td><td>円 790</td><td>円 1,090</td><td>円 1,300</td><td>円 1,960</td><td>円 2,400</td><td>円 3,050</td></tr><tr><td>附属設備</td><td colspan="6">規則で定める額(備考は適用しない。)</td></tr></table>			区分	午前9時 ～正午	午後1時 ～午後5時	午後6時 ～午後10時	午前9時 ～午後5時	午後1時 ～午後10時	午前9時 ～午後10時	ホール(楽屋を含む。)	円 10,300	円 13,600	円 17,200	円 20,500	円 27,200	円 34,300	練習室(1室当たり)	円 790	円 1,090	円 1,300	円 1,960	円 2,400	円 3,050	附属設備	規則で定める額(備考は適用しない。)						<div>(利用料金及び入場料金)</div> <div>第 10 条 〔略〕</div> <div>第 2 〔略〕</div> <div>第 3 利用料金等は、別表第 1 から別表第 3 までに掲げる基準額に 0.8 を乗じて得た額から当該基準額に 1.2 を乗じて得た額までの範囲内の額で、指定管理者が市長の承認を受けて定める額とする。</div> <div>別表第1(第10条関係)</div> <div>施設利用料金の基準額</div> <table><tr><th>区分</th><th>午前9時 ～正午</th><th>午後1時 ～午後5時</th><th>午後6時 ～午後10時</th><th>午前9時 ～午後5時</th><th>午後1時 ～午後10時</th><th>午前9時 ～午後10時</th></tr><tr><td>ホール(楽屋を含む。)</td><td>円 8,637</td><td>円 11,364</td><td>円 14,364</td><td>円 17,091</td><td>円 22,728</td><td>円 28,637</td></tr><tr><td>練習室(1室当たり)</td><td>円 660</td><td>円 910</td><td>円 1,091</td><td>円 1,637</td><td>円 2,000</td><td>円 2,546</td></tr></table>			区分	午前9時 ～正午	午後1時 ～午後5時	午後6時 ～午後10時	午前9時 ～午後5時	午後1時 ～午後10時	午前9時 ～午後10時	ホール(楽屋を含む。)	円 8,637	円 11,364	円 14,364	円 17,091	円 22,728	円 28,637	練習室(1室当たり)	円 660	円 910	円 1,091	円 1,637	円 2,000	円 2,546
区分	午前9時 ～正午	午後1時 ～午後5時	午後6時 ～午後10時	午前9時 ～午後5時	午後1時 ～午後10時	午前9時 ～午後10時																																																
ホール(楽屋を含む。)	円 10,300	円 13,600	円 17,200	円 20,500	円 27,200	円 34,300																																																
練習室(1室当たり)	円 790	円 1,090	円 1,300	円 1,960	円 2,400	円 3,050																																																
附属設備	規則で定める額(備考は適用しない。)																																																					
区分	午前9時 ～正午	午後1時 ～午後5時	午後6時 ～午後10時	午前9時 ～午後5時	午後1時 ～午後10時	午前9時 ～午後10時																																																
ホール(楽屋を含む。)	円 8,637	円 11,364	円 14,364	円 17,091	円 22,728	円 28,637																																																
練習室(1室当たり)	円 660	円 910	円 1,091	円 1,637	円 2,000	円 2,546																																																
<div>備考</div> <div>1 基準額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額とする。</div>			<div>備考</div> <div>1 基準額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。</div>																																																			

2

〔略〕

3

入場料その他これに類する料金(以下「入場料」という。)を徴収して利用する場合の基準額は、次に掲げる入場料の額の区分に応じた額を加算するものとする。

ア

1,000円を超え、3,000円以下のもの

基準額の2割

相当額

イ

3,000円を超え、5,000円以下のもの

基準額の5割

相当額

ウ

5,000円を超えるもの

基準額の10割

相当額

4

指定管理者の承認を得て、この表に定める利用時間を超えて有料施設等を利用する場合は、1時間につき、その利用している区分の基準額(備考2及び備考3の規定に該当する場合は、当該規定を適用して算出した額)を当該区分に定める時間数で除して得た額の3割相当額を加算した額を徴収する。この場合において、1時間に満たない場合は、これを1時間とみなすものとする。

5

この表及び備考により算出した額に10円未満の端数があるときは、その端数は切り捨てる。

2

〔略〕

3

冷暖房を利用するときは、8割増しとする。

4

入場料その他これに類する料金(以下「入場料」という。)を徴収して利用する場合の基準額は、次に掲げる入場料の額の区分に応じた額を加算するものとする。

ア

1,000円を超え、3,000円以下のもの

10割

相当額

イ

3,000円を超え、5,000円以下のもの

15割

相当額

ウ

5,000円を超えるもの

20割

相当額

5

この表及び備考により算出した額に10円未満の端数があるときは、その端数は切り捨てる。

別表第2(第10条関係)

設備利用料金の基準額

区分	単位	金額
音響設備	1回1点につき	2,546円に消費税の税率を乗じて得た額
		及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)以内で市長が定める額

<div>2</div> <div>〔略〕</div>	
<div>3</div> <div> <div>入場料その他これに類する料金(以下「入場料」という。)を徴収して利用する場合の基準額は、次に掲げる入場料の額の区分に応じた額を加算するものとする。</div> <div> <div>ア</div> <div>1,000円を超え、3,000円以下のもの</div> <div>基準額の2割</div> <div>相当額</div> </div> <div> <div>イ</div> <div>3,000円を超え、5,000円以下のもの</div> <div>基準額の5割</div> <div>相当額</div> </div> <div> <div>ウ</div> <div>5,000円を超えるもの</div> <div>基準額の10割</div> <div>相当額</div> </div> </div>	
<div>4</div> <div> <div>指定管理者の承認を得て、この表に定める利用時間を超えて有料施設等を利用する場合は、1時間につき、その利用している区分の基準額(備考2及び備考3の規定に該当する場合は、当該規定を適用して算出した額)を当該区分に定める時間数で除して得た額の3割相当額を加算した額を徴収する。この場合において、1時間に満たない場合は、これを1時間とみなすものとする。</div> </div>	
<div>5</div> <div> <div>この表及び備考により算出した額に10円未満の端数があるときは、その端数は切り捨てる。</div> </div>	

舞台設備	1回1点につき	1, 546円に消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)以内で市長が定める額
		2, 637円に消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)以内で市長が定める額
照明設備	1回1点につき	

備考

1

1回とは、午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで又は午後6時から午後10時までのそれぞれの時間帯における利用をいう。

2

1, 000円を超える入場料を徴収して利用するときは、2割増しとする。

3

この表及び備考により算出した額に10円未満の端数があるときは、その端数は切り捨てる。

別表第2(第10条関係)
〔略〕

別表第3(第10条関係)
〔略〕

改 正 後		改 正 前	
別表(第9条関係)		別表(第9条関係)	
有料施設等利用料金の基準額		有料施設等利用料金の基準額	
区分	金額	区分	金額
宿泊	円	宿泊	円
宿泊研修室(10畳・25畳)	1泊1人 6,000	宿泊研修室(10畳・25畳)	1泊1人 4,572
宿泊研修室(洋室)	1泊1人 6,000	宿泊研修室(洋室)	1泊1人 4,762
休憩	1時間 2,500	休憩研修室(40畳)	1時間 1,905
休憩研修室(40畳)	1時間 2,000	休憩研修室分割利用(20畳)	1時間 1,429
休憩研修室分割利用(20畳)	1時間 2,000	宿泊研修室(25畳)	1時間 1,429
宿泊研修室(25畳)	1時間 1,400	宿泊研修室分割利用(12.5畳)	1時間 953
宿泊研修室分割利用(12.5畳)	1時間 1,400	宿泊研修室(10畳)	1時間 953
宿泊研修室(10畳)	1人 500	大浴場 大人(中学生以上)	1人 477
大浴場 大人(中学生以上)	1人 300	大浴場 小人(小学生)	1人 286
大浴場 小人(小学生)	2,000	家族風呂 大人(中学生以上)	貸切料金は、別途953
家族風呂(貸切料金)		家族風呂 小人(小学生)	1人 143
備考		備考	
1 基準額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。		1 基準額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。	
2 宿泊利用料金について、団体(10人以上)は、2割引とする。		2 2～4 [略]	
3～5 [略]			

第15条関係（安来市交流センター条例の一部改正）

改 正 後		改 正 前	
-------	--	-------	--

別表第1(第10条関係)		別表第1(第10条関係)	
安来中央交流センター使用料		安来中央交流センター使用料	
区分	金額(1時間当たり)		冷暖房使用時加算額 (1時間当たり)
	営利を目的としない とき	営利を目的とするとき	
会議室(1)	円 150	円 100	円 200
会議室(2)	150	100	200
会議室(3)	300	200	200
会議室(5)	300	200	200
会議室(6)	300	200	200
2階和室	300	200	200
青年研修室	300	200	200
調理実習室	750	500	200
講義室	900	600	400
音楽室	900	600	400
3階和室	150	100	200

備考 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。

別表第2(第10条関係)

広瀬中央交流センター使用料

区分	金額(1時間当たり)		冷暖房使用時加算額(1時間当たり)
	営利を目的としない とき	営利を目的とするとき	

講義室	300	円	円
会議室	300	3,000	300
青年研修室	150	3,000	300
調理実習室	750	1,500	300
婦人研修室	150	3,000	300
高齢者研修室	150	1,500	300
講堂	1,500	1,500	300
ステージ(調光設備を含む。)	300	6,000	2,250
放送設備一式	450	1,500	
ピアノ	300	1,350	
		900	

備考 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。

別表第4(第10条関係)

地区交流センター使用料(営利を目的として使用する場合)

区分	金額(1時間当たり)	冷暖房使用時加算額(1時間当たり)
講堂、ホール等(最も広い部屋)	円	円
調理室等(調理設備を備える部屋)	1,500	600
会議室、研修室等(上記を除く使用に供する部屋)	1,500	300
	750	300

備考

- 1 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。

講義室	円	円	円
会議室	200	2,000	200
青年研修室	200	2,000	200
調理実習室	100	1,000	200
婦人研修室	500	2,000	200
高齢者研修室	100	1,000	200
講堂	100	1,000	200
ステージ(調光設備を含む。)	1,000	4,000	1,500
放送設備一式	200	1,000	
ピアノ	300	900	
	200	600	

備考 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。

別表第4(第10条関係)

地区交流センター使用料(営利を目的として使用する場合)

区分	金額(1時間当たり)	冷暖房使用時加算額(1時間当たり)
講堂、ホール等(最も広い部屋)	円	円
調理室等(調理設備を備える部屋)	1,000	400
会議室、研修室等(上記を除く使用に供する部屋)	1,000	200
	500	200

備考

- 1 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。

2	〔略〕	2	〔略〕
3	赤屋交流センター使用料は、この表の規定にかかわらず、安来市農村環境改善センターの設置及び管理に関する条例(平成16年安来市条例第171号)第8条に規定する伯太農村環境改善サブセンターの使用料の額による。	3	赤屋交流センター使用料は、この表の規定にかかわらず、安来市農村環境改善センターの設置及び管理に関する条例(平成16年安来市条例第171号)第8条に規定する伯太農村環境改善サブセンターの使用料の額による。

第16条関係 (安来市観光交流プラザ条例の一部改正)

改 正 後		改 正 前	
別表(第4条、第6条、第9条関係) 有料施設等利用料金の基準額		別表(第4条、第6条、第9条関係) 有料施設等利用料金の基準額	
区分	単位	金額	摘要
ステーションギヤラリー	1時間当たり	300円	冷暖房を利用するときは、1時間当たり300円を加えた額とする。
多目的交流ゾーン	1時間当たり	300円	冷暖房を利用するときは、1時間当たり300円を加えた額とする。
多目的交流ゾーン	1時間当たり	3,000円	冷暖房を利用するときは、1時間当たり3,000円を加えた額とする。
多目的交流ゾーン	1時間当たり	3,000円	冷暖房を利用するときは、1時間当たり3,000円を加えた額とする。
〔略〕		〔略〕	
タクシー駐機料金		年間(1社当たり)	25,000
備考		備考	
1 基準額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。		1 基準額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。	
2	〔略〕	2	〔略〕

改 正 後				改 正 前			
別表第1(第4条、第11条関係) 有料施設利用料金の基準額				別表第1(第4条、第11条関係) 有料施設利用料金の基準額			
区分	金額(1時間当たり)			区分	金額(1時間当たり)		
	営利を目的としないとき		営利を目的とするとき		営利を目的としないとき		営利を目的とするとき
	午前9時～午後5時	午後5時～午後9時	午前9時～午後5時		午後5時～午後9時	午前9時～午後5時	午後5時～午後9時
実習室	円 1,429	円 1,714	円 2,857	円 953	円 1,143	円 1,905	円 2,286
第1教室	1,143	1,429	2,286	762	953	1,524	1,905
第2教室	1,000	1,287	2,001	667	858	1,334	1,715
OA教室	1,429	1,714	2,857	953	1,143	1,905	2,286
会議室	858	1,000	1,714	572	667	1,143	1,334
市民教室	1,143	1,429	2,286	762	953	1,524	1,905
視聴覚教室	2,715	3,144	5,430	1,810	2,096	3,620	4,191
備考				備考			
1 基準額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。				1 基準額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。			
2 [略]				2 [略]			

第18条関係 (安来市道の駅あらエッサ条例の一部改正)

(改正部分)

改 正 後		改 正 前	
別表(第8条関係) 占用施設使用料		別表(第8条関係) 占用施設使用料	
区分	金額(1日当たり)		電気使用時加算額(コンセント1個につき1日当たり)
	営利を目的としないとき	営利を目的とするとき	
多目的広場 (1区画(20㎡)につき)	円 200	円 96	円 96
多目的施設	1,000	762	1,524
備考 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。		備考 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。	

第 1 9 条関係 (安来市和銅博物館条例の一部改正)

(改正部分)

改 正 後		改 正 前																									
<div>(入館料)</div> <div>第8条 〔略〕</div> <div>2 〔略〕</div> <div>3 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、観覧日前後において入館料を納付することができる。<div>(1) 博物館が指定する入館券を事前に購入する場合</div><div>(2) 安来市指定金融機関への振込により入館料を納付する場合</div></div> <div>4 前項の規定による納付は、教育委員会が指定する日までに行わなければならない。</div>		<div>(入館料)</div> <div>第8条 〔略〕</div> <div>2 〔略〕</div>																									
<div>別表第1(第8条関係)</div> <div>入館料</div> <table><tr><th>区分</th><th>個人</th><th>団体 (20人以上)</th></tr><tr><td>一般</td><td>円 419</td><td>円 1人につき 328</td></tr><tr><td>大学生</td><td>210</td><td>1人につき 164</td></tr><tr><td>高校生以下</td><td>無料</td><td>無料</td></tr></table>		区分	個人	団体 (20人以上)	一般	円 419	円 1人につき 328	大学生	210	1人につき 164	高校生以下	無料	無料	<div>別表第1(第8条関係)</div> <div>入館料</div> <table><tr><th>区分</th><th>個人</th><th>団体 (20人以上)</th></tr><tr><td>一般</td><td>円 286</td><td>円 1人につき 239</td></tr><tr><td>高校生</td><td>191</td><td>1人につき 143</td></tr><tr><td>中学生以下</td><td>無料</td><td>無料</td></tr></table>		区分	個人	団体 (20人以上)	一般	円 286	円 1人につき 239	高校生	191	1人につき 143	中学生以下	無料	無料
区分	個人	団体 (20人以上)																									
一般	円 419	円 1人につき 328																									
大学生	210	1人につき 164																									
高校生以下	無料	無料																									
区分	個人	団体 (20人以上)																									
一般	円 286	円 1人につき 239																									
高校生	191	1人につき 143																									
中学生以下	無料	無料																									
<div>備考</div> <div>1 入館料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を合算した額を加えた額(当該額に 10 円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。</div> <div>2 特別な展示、催事等を行う場合の入館料は、3,000 円の範囲内においてその都度教育委員会が定める。</div>		<div>備考</div> <div>入館料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を合算した額を加えた額(当該額に 10 円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。</div>																									

3

高校生以下及び大学生には、それぞれこれらの者に準ずるものを含むものとする。

別表第2(第11条、第13条関係)

使用料

区分	午前9時～正午	午後1時～午後5時	午前9時～午後5時
映像ホール	円 8,564	円 11,428	円 19,991
市民ギャラリー	円 1,700	円 2,428	円 4,128
補修工作室	円 1,128	円 1,700	円 2,846

備考

1 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。

2 〔略〕

3 使用時間の延長に係る使用料は、延長する区分の使用料とする。二の場合において、正午から午後1時までの額は、延長前の区分の額を1時間に換算した額とする。

別表第2(第11条、第13条関係)

使用料

区分	午前9時～正午	午後1時～午後5時	午前9時～午後5時
映像ホール	円 5,715	円 7,620	円 13,334
市民ギャラリー	円 1,143	円 1,620	円 2,762
補修工作室	円 762	円 1,143	円 1,905

備考

1 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。

2 〔略〕

3 使用時間の延長に係る使用料は、延長する時間帯の使用料とする。

第 2 0 条関係 (安来市立歴史資料館条例の一部改正)

(改正部分)

改 正 後		改 正 前	
<p>(入館料)</p> <p>第8条 [略]</p> <p>2 [略]</p> <p>3 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、観覧日前後において入館料を納付することができる。</p> <p>(1) 資料館が指定する入館券を購入する場合</p> <p>(2) 安来市指定金融機関への振込により入館料を納付する場合</p> <p>4 前項の規定による納付は、教育委員会が指定する日までに行わなければならない。</p>		<p>(入館料)</p> <p>第8条 [略]</p> <p>2 [略]</p> <p>(罰則)</p> <p>第 13 条 市長は、詐欺その他不正の行為により、入館料の徴収を免れた者については、その徴収を免れた金額の 5 倍に相当する金額(当該 5 倍に相当する金額が 5 万円を超えないときは、5 万円とする。)以下の過料を科することができる。</p> <p>(委任)</p> <p>第 14 条 [略]</p> <p>別表(第 8 条関係) 入館料</p>	
	(委任)		(委任)
	第 13 条 [略]		第 14 条 [略]
	別表(第 8 条関係) 入館料		別表(第 8 条関係) 入館料
区分	個人	区分	個人
団体(20人以上の場合をいう。)	団体(20人以上の場合をいう。)	団体(20人以上の場合をいう。)	団体(20人以上の場合をいう。)
円	円	円	円
一般	273	円	29
1人につき	219	1人につき	19
大学生	137	高校生及び大学生	77
1人につき	110	1人につき	77

高校生以下	無料	無料	その他の者(未就学児を除く。)	191	1人につき 153
備考					
<p>1 入館料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする</p> <p>2 特別な展示、催事等を行う場合の入館料は、<u>2,000円</u>の範囲内においてその都度教育委員会が定める。</p> <p>3 高校生以下<u>及び</u>大学生には、それぞれこれらの者に準ずるものを含むものとする。</p>					
備考					
<p>1 入館料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。</p> <p>2 特別の資料を展示する 場合の入館料は、<u>500円</u>の範囲内においてその都度教育委員会が定める。</p> <p>3 小学生及び中学生並びに高校生及び大学生には、それぞれこれらの者に準ずるものを含むものとする。</p>					

第21条関係 (安来市三日月公園ふれあい館条例の一部改正)

(改正部分)

改 正 後		改 正 前	
別表(第8条関係)		別表(第8条関係)	
特産品販売所使用料		特産品販売所使用料	
区分	金額(1時間当たり)	金額(1時間当たり)	冷暖房使用時加算額(1時間当たり)
営利を目的とするとき	円 185	円 143	円 143
営利を目的としないとき	無料	無料	無料
備考		備考	
<p>1 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。</p>		<p>1 使用料の額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。</p>	
2 〔略〕		2 〔略〕	

第2.2条関係 (安来市総合文化ホール条例の一部改正)

(改正部分)

改正後										改正前									
別表(第10条関係) 有料施設等利用料金の基準額										別表(第10条関係) 有料施設等利用料金の基準額									
大ホール	時間区分 利用区分		午前	午後	夜間	午前午後	午後夜間	全日		大ホール	時間区分 利用区分		午前	午後	夜間	午前午後	午後夜間	全日	
	ホー	ル	午前9時 ～正午	午後1時 ～午後5時	午後6時 ～午後10時	午前9時 ～午後5時	午後1時 ～午後10時	午前9時 ～午後10時			ホー	ル	午前9時 ～正午	午後1時 ～午後5時	午後6時 ～午後10時	午前9時 ～午後5時	午後1時 ～午後10時	午前9時 ～午後10時	
大ホール	ホー	ル	23,870	31,820	39,780	55,690	71,600	95,470		大ホール	ホー	ル	18,360	24,480	30,600	42,840	55,080	73,440	
	楽	屋1	620	830	1,040	1,460	1,870	2,500			楽	屋1	480	640	800	1,120	1,440	1,920	
	楽	屋2	620	830	1,040	1,460	1,870	2,500			楽	屋2	480	640	800	1,120	1,440	1,920	
	楽	屋	470	620	780	1,090	1,400	1,870			楽	屋	360	480	600	840	1,080	1,440	
	屋	利用									屋	利用							
	3	上記以外	780	1,040	1,300	1,820	2,340	3,120			3	上記以外	600	800	1,000	1,400	1,800	2,400	
大ホール	楽	屋	470	620	780	1,090	1,400	1,870		大ホール	楽	屋	360	480	600	840	1,080	1,440	
	屋	利用									屋	利用							
	4	上記以外	780	1,040	1,300	1,820	2,340	3,120			4	上記以外	600	800	1,000	1,400	1,800	2,400	
	楽	屋	470	620	780	1,090	1,400	1,870			楽	屋	360	480	600	840	1,080	1,440	
	屋	利用									屋	利用							
	5	上記以外	780	1,040	1,300	1,820	2,340	3,120			5	上記以外	600	800	1,000	1,400	1,800	2,400	
大ホール	楽	屋	470	620	780	1,090	1,400	1,870		大ホール	楽	屋	360	480	600	840	1,080	1,440	
	屋	利用									屋	利用							
	6	上記以外	780	1,040	1,300	1,820	2,340	3,120			6	上記以外	600	800	1,000	1,400	1,800	2,400	
	楽	屋	470	620	780	1,090	1,400	1,870			楽	屋	360	480	600	840	1,080	1,440	
	屋	利用									屋	利用							
	6	上記以外	780	1,040	1,300	1,820	2,340	3,120			6	上記以外	600	800	1,000	1,400	1,800	2,400	

小ホール	8,970	11,960	14,950	20,930	26,910	35,880
楽屋利用	470	620	780	1,090	1,400	1,870
A 上記以外	780	1,040	1,300	1,820	2,340	3,120
楽屋利用	470	620	780	1,090	1,400	1,870
B 上記以外	780	1,040	1,300	1,820	2,340	3,120
楽屋利用	470	620	780	1,090	1,400	1,870
C 上記以外	780	1,040	1,300	1,820	2,340	3,120
楽屋利用	470	620	780	1,090	1,400	1,870
D 上記以外	780	1,040	1,300	1,820	2,340	3,120
展示室	3,040	4,060	5,070	7,100	9,130	12,170
会議室1	1,370	1,820	2,280	3,190	4,100	5,460
会議室2	1,370	1,820	2,280	3,190	4,100	5,460
練習室	3,780	5,040	6,310	8,830	11,350	15,130
パントリー	390	520	650	910	1,170	1,560
その他の共用スペース	占用して利用する場合は、1平方メートル当たり1時間につき6円					
附属設備	規則で定める額(備考は適用しない。)					

備考

- 1 基準額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(以下「この表に定める基準額」という。)

とする。

小ホール	6,900	9,200	11,500	16,100	20,700	27,600
楽屋利用	360	480	600	840	1,080	1,440
A 上記以外	600	800	1,000	1,400	1,800	2,400
楽屋利用	360	480	600	840	1,080	1,440
B 上記以外	600	800	1,000	1,400	1,800	2,400
楽屋利用	360	480	600	840	1,080	1,440
C 上記以外	600	800	1,000	1,400	1,800	2,400
楽屋利用	360	480	600	840	1,080	1,440
D 上記以外	600	800	1,000	1,400	1,800	2,400
展示室	2,340	3,120	3,900	5,460	7,020	9,360
会議室1	1,050	1,400	1,750	2,450	3,150	4,200
会議室2	1,050	1,400	1,750	2,450	3,150	4,200
練習室	2,910	3,880	4,850	6,790	8,730	11,640
パントリー	300	400	500	700	900	1,200
その他の共用スペース	占用して利用する場合は、1平方メートル当たり1時間につき5円					
附属設備	規則で定める額(備考は適用しない。)					

備考

- 1 基準額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。

<p>2 土曜日、日曜日及び祝日に利用する場合は、基準額の2割増しとする。</p>	<p>2 土曜日、日曜日及び祝日に利用する場合は、基準額の2割増しとする。</p>
<p>3・4 〔略〕</p>	<p>3・4 〔略〕</p>
<p>5 入場料その他これに類する料金(当該金額に区分がある場合は、そのうち最も高い金額。以下「入場料」という。)を徴収して利用する場合は、次に掲げる入場料の額の区分に応じた額とする。</p>	<p>5 入場料その他これに類する料金(当該金額に区分がある場合は、そのうち最も高い金額。以下「入場料」という。)を徴収して利用する場合は、次に掲げる入場料の額の区分に応じた額とする。</p>
<p>ア 3,000円を超え、5,000円以下のもの</p>	<p>ア 3,000円を超え、5,000円以下のもの</p>
<p>イ 5,000円を超えるもの</p>	<p>イ 5,000円を超えるもの</p>
<p>増し</p>	<p>増し</p>
<p>6 備考5の規定にかかわらず、商品の販売、商業宣伝その他これに類する目的で利用するときは、</p>	<p>6 備考5の規定にかかわらず、商品の販売、商業宣伝その他これに類する目的で利用する場合は、この表に定める基準額(備考2から備考4までの規定に該当する場合は、当該規定を適用して算出した額)の10割増しとする。</p>
<p>とする。</p>	<p>とする。</p>
<p>7 指定管理者の承認を得て、この表に定める利用時間を超えて有料施設等を利用する場合は、1時間につき、その利用している区分の基準額(備考2から備考6の規定に該当する場合は、当該規定を適用して算出した額)を当該区分に定める時間数で除して得た額の3割増しの額を徴収する。この場合において、1時間に満たない場合は、これを1時間とみなすものとする。</p>	<p>7 指定管理者の承認を得て、この表に定める利用時間を超えて有料施設等を利用する場合は、1時間につき、その利用している区分のこの表に定める基準額(備考2から備考6までの規定に該当する場合は、当該規定を適用して算出した額)を当該区分に定める時間数で除して得た額の3割増しの額を徴収する。この場合において、1時間に満たない場合は、これを1時間とみなすものとする。</p>
<p>8 備考7の規定にかかわらず、指定管理者の承認を得て、22時から翌日5時までの間に有料施設等を利用する場合は、1時間につき、夜間区分の基準額(備考2から備考6までの規定に該当する場合は、当該規定を適用して算出した額)を当該区分に定める時間数で除して得た額の5割増しの額を徴収する。この場合において、1時間に満たない場合は、これを1時間とみなすものとする。</p>	<p>8 備考7の規定にかかわらず、指定管理者の承認を得て、22時から翌日5時までの間に有料施設等を利用する場合は、1時間につき、夜間区分の基準額(備考2から備考6までの規定に該当する場合は、当該規定を適用して算出した額)を当該区分に定める時間数で除して得た額の5割増しの額を徴収する。この場合において、1時間に満たない場合は、これを1時間とみなすものとする。</p>
<p>9 〔略〕</p>	<p>9 〔略〕</p>

第23条関係 (安来市広瀬温泉月山の湯憩いの家条例の一部改正)

(改正部分)

改 正 後	改 正 前												
<p>(開館時間)</p> <p>第5条 憩いの家の開館時間は、午後1時から午後8時までとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、市長の承認を受けて、これを変更することができる。</p> <p>別表(第7条関係)</p> <table><tr><th>区分</th><th>金額</th></tr><tr><td>大人(高校生以上)</td><td>円 500</td></tr><tr><td>小人(中学生以下)</td><td>円 300</td></tr></table> <p>備考 基準額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。</p>	区分	金額	大人(高校生以上)	円 500	小人(中学生以下)	円 300	<p>(開館時間)</p> <p>第5条 憩いの家の開館時間は、午前10時から午後8時までとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、市長の承認を受けて、これを変更することができる。</p> <p>別表(第7条関係)</p> <table><tr><th>区分</th><th>金額</th></tr><tr><td>大人(高校生以上)</td><td>円 477</td></tr><tr><td>小人(中学生以下)</td><td>円 286</td></tr></table> <p>備考 基準額は、この表に掲げる額にそれぞれ消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方消費税の税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額(当該額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。</p>	区分	金額	大人(高校生以上)	円 477	小人(中学生以下)	円 286
区分	金額												
大人(高校生以上)	円 500												
小人(中学生以下)	円 300												
区分	金額												
大人(高校生以上)	円 477												
小人(中学生以下)	円 286												

(_____ 改正部分)

改 正 後		改 正 前	
別表(第2条関係) 1 小学校	名称	名称	位置
	[略]	[略]	
	安来市立比田小学校	安来市立比田小学校	安来市広瀬町西比田 1659 番地 1
		安来市立山佐小学校	安来市広瀬町上山佐 608 番地 1
		[略]	[略]
2 [略]		2 [略]	

議第 5 号

安来市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について 説明資料
健康福祉部子ども未来課

1. こども誰でも通園制度について

こども誰でも通園制度(乳児等通園支援事業)とは、全ての子どもの育ちを応援し、子育て家庭に対して多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため、月一定時間まで保育所等へ通園することができる制度です。令和 7 年度から制度が開始され、令和 8 年度から全自治体が実施することになります。

		0 歳～2 歳	3 歳～5 歳
就 労 要 件	あり	保育所、認定こども園等	
	なし	<div><u>こども誰でも通園制度</u><ul style="list-style-type: none">・就労要件を問わない・月 10 時間までの利用可能枠・時間単位の柔軟な利用※0 歳 6 か月から満 3 歳未満</div>	幼稚園 ※満 3 歳～小学校就学前まで

2. 利用するメリット

●子どもにとって

家庭とは異なる経験や、家族以外の人と関わる機会が得られます。
同じ年ごろの子ども同士が触れ合いながら、成長していくことができます。



●保護者にとって

専門的な知識や技術を持つ人との関わりにより、孤立感、不安感の解消につながります。
子どもへの保育者の接し方を見ることにより、親として成長することができます。

3. 対象となる子ども

次の全てを満たす子どもが対象となります。なお、保護者の就労要件は問いません。

- ・安来市に住所を有すること。
- ・利用日時時点で生後 6 か月から満 3 歳未満(満 3 歳に達する日の前々日まで)であること
- ・保育所等に通っていないこと

4. 利用可能時間数(※令和 7 年度制度)

- ・子ども 1 人あたり 1 か月 10 時間まで(1 回 1 時間以上とし、30 分単位で利用可)

5. 利用料・実費負担

- ・利用料 あり(※令和 7 年度は子ども 1 人 1 時間あたり 300 円、令和 8 年度は未定)
- ・給食費・おやつ代などが別途で負担が必要な場合があります。
- ・利用施設に直接支払います。

議第 7 号

松江圏都市計画（安来市都市計画）地区計画区域内における建築物の制限
に関する条例の一部を改正する条例制定について 説明資料

建設部建築住宅課

1. 地区計画の位置

安来市切川町の一部（約 21.7ha）



2. 建築物の用途制限

工業地域（建築基準法別表第 2（を）項）の用途制限に加え、住宅、共同住宅及び風俗施設を制限する。

	住宅系	店舗	事務所	遊戯施設	風俗施設	工場系
工業地域	○	○※1	○	△※2	△※3	○
切川地区計画	×	○※1	○	△※2	×	○

※1：1ha 以下に限る ※2：ボーリング場、カラオケボックス等は可

※3：麻雀・パチンコ店等は可

3. 地区計画設定の経緯

令和 7 年 4 月 21 日～法定手続き（県との事前協議、縦覧、住民説明会等）

9 月 29 日 安来市都市計画審議会の承認

10 月 8 日 島根県知事協議

10 月 27 日 都市計画決定の告示

(改正部分)

改 正 後		改 正 前	
別表第1(第2条関係)		別表第1(第2条関係)	
名称	区域	名称	区域
荒島・柳地区地区計画	平成10年1月7日に都市計画決定した荒島・柳地区地区計画の定められた区域	荒島町柳地区地区整備計画	平成10年1月7日に都市計画決定した荒島町柳地区地区計画のうち地区計画整備計画の定められた区域
ハーモニータウン汐彩地区計画	平成12年6月5日に都市計画決定したハーモニータウン汐彩地区計画の定められた区域	汐手が丘地区地区整備計画	平成12年6月5日に都市計画決定した汐手が丘地区地区計画のうち地区計画整備計画の定められた区域
今津道マン地区計画	平成21年3月18日に都市計画決定した今津道マン地区計画の定められた区域	今津道マン地区地区整備計画	平成21年3月18日に都市計画決定した今津道マン地区地区計画のうち地区計画整備計画の定められた区域
切川地区計画	令和7年10月27日に都市計画決定した切川地区計画の定められた区域		
別表第2(第3条―第10条関係)		別表第2(第3条―第10条関係)	
計画区域	制限の種類	計画地区	
荒島・柳地区地区		低層住宅地区	中高層住宅地区
		〔略〕	
計画区域		第一種低層住居専用地域(Aゾーン)	第一種中高層住居専用地域(Bゾーン)

地区 地区 整備	〔略〕		
計画 区域	〔略〕		
今津 道マ ン地 区地 区整 備計	住居地区	沿道地区	
画区 域	〔略〕		
ク	建築物の形態又は意匠の制限		
ア	1 法別表第 2(を)項に掲げるもの 2 法別表第 2(わ)項第 2 号及び第 3 号に規定する建築物 3 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律(昭和 23 年法律第 122 号)第 2 条第 1 項又は第 6 項から第 13 項までのいずれかに該当する営業の用に供する建築物		
イ	建築物の敷地面積の最低限度		
ウ	建築物の高さの最高限度		
エ	建築物の壁面の位置の制限		
オ	建築物の建蔽率の最高限度	10 分の 6。ただし、法第 53 条第 3 項第 2 号に定める建築物にあっては 10 分の 7	
カ	建築物の容積率の最高限度	10 分の 20	

キ	垣又はさく等の 構造制限				
ク	建築物の形態又 は意匠の制限				

第1条関係 (安来市火災予防条例の一部改正)

(改正部分)

改 正 後	改 正 前
<p>目次</p> <p>第1章～第3章 〔略〕</p> <p>第3章の2 住宅用防災機器の設置及び維持に関する基準等(第29条の2—第29条の7)</p> <p>第3章の3 林野火災の予防(第29条の8・第29条の9)</p> <p>第4章～第7章 〔略〕</p> <p>附則</p> <p>(火災に関する警報の発令中における火の使用の制限)</p> <p>第29条 火災に関する警報(法第22条第3項に規定する火災に関する警報をいう。以下同じ。)が発せられた場合における火の使用については、次の各号に定めるところによらなければならない。</p> <p>(1)～(6) 〔略〕</p> <p>第3章の3 林野火災の予防 (林野火災に関する注意報)</p> <p>第29条の8 市長は、気象の状況が山林、原野等における火災(以下「林野火災」という。)の予防上注意を要すると認めるときは、林野火災に関する注意報を発することができる。</p> <p>2 前項の規定による注意報が発せられたときは、注意報が解除されるまでの</p>	<p>目次</p> <p>第1章～第3章 〔略〕</p> <p>第3章の2 住宅用防災機器の設置及び維持に関する基準等(第29条の2—第29条の7)</p> <p>第4章～第7章 〔略〕</p> <p>附則</p> <p>(火災に関する警報の発令中における火の使用の制限)</p> <p>第29条 火災に関する警報 が發せられた場合における火の使用については、次の各号に定めるところによらなければならない。</p> <p>(1)～(6) 〔略〕</p> <p>(7) 屋内において裸火を使用するときは、窓、出入口等を閉じて行うこと。</p>

<p>間、市の区域内に在る者は、<u>第29条各号に定める火の使用の制限に従うよう努めなければならない。</u></p> <p>3 市長は、<u>林野火災の発生の危険性を勘案して、前項の規定による火の使用の制限の努力義務の対象となる区域を指定することができる。</u></p> <p>(<u>林野火災の予防を目的とした火災に関する警報の発令中における火の使用の制限</u>)</p> <p><u>第29条の9</u> 市長は、<u>林野火災の予防を目的として火災に関する警報を発したときは、林野火災の発生の危険性を勘案して、第29条各号に定める火の使用の制限の対象となる区域を指定することができる。</u></p> <p>(屋外催しに係る防火管理)</p> <p>第42条の3 前条第1項の指定催しを主催する者は、同項の指定を受けたときは、速やかに防火担当者を定め、当該指定催しを開催する日の14日前までに(当該指定催しを開催する日の14日前の日以後に同項の指定を受けた場合にあっては、防火担当者を定めた後遅滞なく)次の各号に掲げる火災予防上必要な業務に関する計画を作成させるとともに、当該計画に基づき業務を行わせなければならない。</p> <p>(1)・(2) [略]</p> <p>(3) 対象火気器具等を使用し、又は危険物を取り扱う露店、屋台その他これらに類するもの(第45条第1項において「露店等」という。)及び客席の火災予防上安全な配置に関すること。</p> <p>(4)～(6) [略]</p> <p>2 [略]</p> <p>(火災とまぎらわしい煙等を発するおそれのある行為等の届出)</p> <p>第45条 次の各号に掲げる行為をしようとする者は、あらかじめ、その旨を消防長に届け出なければならない。</p> <p>(1) 火災とまぎらわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為</p>	<p>(屋外催しに係る防火管理)</p> <p>第42条の3 前条第1項の指定催しを主催する者は、同項の指定を受けたときは、速やかに防火担当者を定め、当該指定催しを開催する日の14日前までに(当該指定催しを開催する日の14日前の日以後に同項の指定を受けた場合にあっては、防火担当者を定めた後遅滞なく)次の各号に掲げる火災予防上必要な業務に関する計画を作成させるとともに、当該計画に基づき業務を行わせなければならない。</p> <p>(1)・(2) [略]</p> <p>(3) 対象火気器具等を使用し、又は危険物を取り扱う露店、屋台その他これらに類するもの(第45条第1項において「露店等」という。)及び客席の火災予防上安全な配置に関すること。</p> <p>(4)～(6) [略]</p> <p>2 [略]</p> <p>(火災とまぎらわしい煙等を発するおそれのある行為等の届出)</p> <p>第45条 次の各号に掲げる行為をしようとする者は、あらかじめ、その旨を消防長に届け出なければならない。</p> <p>(1) 火災とまぎらわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為</p>
--	--

含む。)	(2)～(6) 〔略〕
<u>2</u> 消防長は、前項各号に掲げるそれぞれの行為について、届出の対象となる期間及び区域を指定することができる。	

第2条関係（安来市火入れに関する条例の一部改正）

（ 改正部分）

改 正 後		改 正 前	
<p>(趣旨)</p> <p>第1条 この条例は、市の森林又は森林の周囲1キロメートルの範囲内にある土地における火入れに関し、森林法(昭和26年法律第249号<u>以下「法」という。</u>)第21条の許可の手続その他必要な事項を定めるものとする。</p> <p>(許可の申請)</p> <p>第2条 <u>法</u> 第21条第1項の規定に基づき、火入れの許可を受けようとする者(以下「申請者」という。)は、火入れを行おうとする期間(以下「火入予定期間」という。)の開始する日の10日前までに、様式第1号による申請書2通に、次に掲げる書類を添え、市長に提出しなければならない。</p> <p>(1)～(3) 〔略〕</p> <p>2 〔略〕</p> <p>(許可の要件)</p> <p>第3条 市長は、当該申請に係る火入れが次の各号の<u>全て</u>に該当する場合でなければ許可をしてはならない。</p> <p>(1) 火入れの目的が、<u>法</u> 第21条第2項各号に掲げる目的のいずれかに該当すること。</p>		<p>(趣旨)</p> <p>第1条 この条例は、市の森林又は森林の周囲1キロメートルの範囲内にある土地における火入れに関し、森林法(昭和26年法律第249号<u> </u>)第21条の許可の手続その他必要な事項を定めるものとする。</p> <p>(許可の申請)</p> <p>第2条 <u>森林法</u>第21条第1項の規定に基づき、火入れの許可を受けようとする者(以下「申請者」という。)は、火入れを行おうとする期間(以下「火入予定期間」という。)の開始する日の10日前までに、様式第1号による申請書2通に、次に掲げる書類を添え、市長に提出しなければならない。</p> <p>(1)～(3) 〔略〕</p> <p>2 〔略〕</p> <p>(許可の要件)</p> <p>第3条 市長は、当該申請に係る火入れが次の各号の<u>すべて</u>に該当する場合でなければ許可をしてはならない。</p> <p>(1) 火入れの目的が、<u>森林法</u>第21条第2項各号に掲げる目的のいずれかに該当すること。</p>	

<p>(2) 〔略〕</p> <p>(許可証の交付等)</p> <p>第4条 市長は、火入れの許可をするときは、<u>法</u> 第21条第1項の規定に基づき、第8条から第15条まで及び第16条第4項の規定を遵守してこれらを行うべき旨その他火入れの適正な実施を確保するために必要な事項を指示するものとし、当該指示事項を記載した様式第2号による許可証(以下「火入許可証」という。)を交付するものとする。</p> <p>2 〔略〕</p> <p>(許可後における指示)</p> <p>第5条 市長は、火入れの許可をした後において延焼その他危害の発生のおそれが生じたときは、<u>法</u> 第21条の規定に基づき火入れの差止め又は火入れの方法若しくは期日の変更その他必要な指示を行うことができる。</p> <p>(火入れの中止)</p> <p>第14条 火入者及び火入責任者は、火入れの許可の期間中であっても、<u>強風注意報若しくは乾燥注意報が発表され、又は火災警報若しくは林野火災注意報が発令された場合には、火入れを行ってはならない。</u></p> <p>2 火入責任者は、火入れ中に風勢等によって他に延焼するおそれがあると認められる<u>場合又は強風注意報若しくは乾燥注意報が発表され、若しくは火災警報若しくは林野火災注意報が発令された場合には、速やかに消火しなければならぬ。</u></p>	<p>(2) 〔略〕</p> <p>(許可証の交付等)</p> <p>第4条 市長は、火入れの許可をするときは、<u>森林法</u>第21条第1項の規定に基づき、第8条から第15条まで及び第16条第4項の規定を遵守してこれらを行うべき旨その他火入れの適正な実施を確保するために必要な事項を指示するものとし、当該指示事項を記載した様式第2号による許可証(以下「火入許可証」という。)を交付するものとする。</p> <p>2 〔略〕</p> <p>(許可後における指示)</p> <p>第5条 市長は、火入れの許可をした後において延焼その他危害の発生のおそれが生じたときは、<u>森林法</u>第21条の規定に基づき火入れの差し止め又は火入れの方法若しくは期日の変更その他必要な指示を行うことができる。</p> <p>(火入れの中止)</p> <p>第14条 火入者及び火入責任者は、火入れの許可の期間中であっても、<u>強風注意報、異常乾燥注意報又は火災警報</u> <u>が發令された場合には、火入れを行ってはならない。</u></p> <p>2 火入責任者は、火入れ中に風勢等によって他に延焼するおそれがあると認められる<u>とき又は強風注意報、異常乾燥注意報又は火災警報が発令されたとき</u> <u>には、速やかに消火しなければならぬ。</u></p>
--	---

第3次安来市総合計画について

1. 安来市の概要

- (1) 安来市の位置と地勢
- (2) 安来市の特性
- (3) 人口の推移

2. 総合計画について

- (1) 策定の趣旨
- (2) 第3次安来市総合計画の役割
- (3) 総合計画の構成と期間
- (4) SDGsの推進
- (5) Well-being(地域幸福度)指標を活用したまちづくりの推進
- (6) 総合計画審議会
- (7) 総合計画策定の経過

1. 安来市の概要

(1) 安来市の位置と地勢

安来市は島根県の東部、鳥取県との県境に位置し、東は米子市・南部町、南は日南町（以上鳥取県）・奥出雲町、西は松江市・雲南市に接しています。

市域は東西およそ22km、南北およそ28kmで、面積は420.93平方キロメートルです。

南部は豊かな緑に覆われる中国山地が連なり、そこを源流として中海に注ぐ飯梨川・伯太川全流域が市域に含まれます。下流域に形成された三角州には広大な耕地が広がり、上流域には豊かな森林と県東部の水瓶としての機能も果たす布部ダム・山佐ダムがあります。

そして、どじょうすくいで有名な民謡安来節などの文化、山陰の覇者・戦国大名尼子氏の本拠地として栄えた歴史、世界的なシェアをもつ高級特殊鋼の生産加工を中心とした産業、海外からも高い評価を受ける足立美術館などの観光地、南北に広がる豊かな自然など、豊かな資源の宝庫です。

また、JR山陰本線の安来駅・荒島駅や山陰自動車道安来インターチェンジがあり、島根県の東の玄関口であるとともに、山陰地方の経済・人口が集積する中海・宍道湖・大山圏域の一角を占める地理的にも恵まれた地域です。



(2)安来市の特性

1 優れた景観を保有し、自然と共生するまち

本市は、ラムサール条約に登録されている中海、そして飯梨川・伯太川などの河川、平野、中国山地に連なる緑など、美しく豊かな自然環境に恵まれ、源流から河口まで広がる広大な市域と優れた自然景観を有しています。これらは、里山資本主義の考え方を取り入れた農林業の育成、環境ビジネス・アグリビジネス創造のポテンシャルにつながるとともに、暮らしやすい、自然と共生するまちの要件となっています。

2 文化・歴史・産業振興に活かす資源が豊富なまち

全国的に知れ渡る民謡・安来節をはじめ、月山富田城跡など個性豊かで優れた伝統芸能・歴史的建造物・美術など多彩な文化を有しており、これらの活用によって市内外から多くの人が訪れ、交流が広がることを期待できるまちです。

3 ものづくりの伝統と技術を保有するまち

たたら製鉄の流れをくむ金属関連製造業、豊かな自然環境を活かした観光産業等、地域特有の歴史・資源を活かした産業育成が進められ、他地域では代替できないオンリーワンの高い付加価値を創り出すことができるポテンシャルを有しているまちです。

4 中海・宍道湖・大山圏域の立地特性が活かせるまち

島根・鳥取両県の結節するエリアに位置し、松江市、米子市に隣接しています。この地域は山陰地方の人口・産業の集積地であり、中海・宍道湖・大山圏域の5市7 町村との連携により広域的な強みを活かしたまちづくりが可能なまちです。中でも松江市、米子市、出雲市、境港市の 4 市とは、目的に応じた戦略的提携、リスクマネジメントが可能という強みがあります。

5 それぞれの地域性と、住む人の地域活動への参画のあるまち

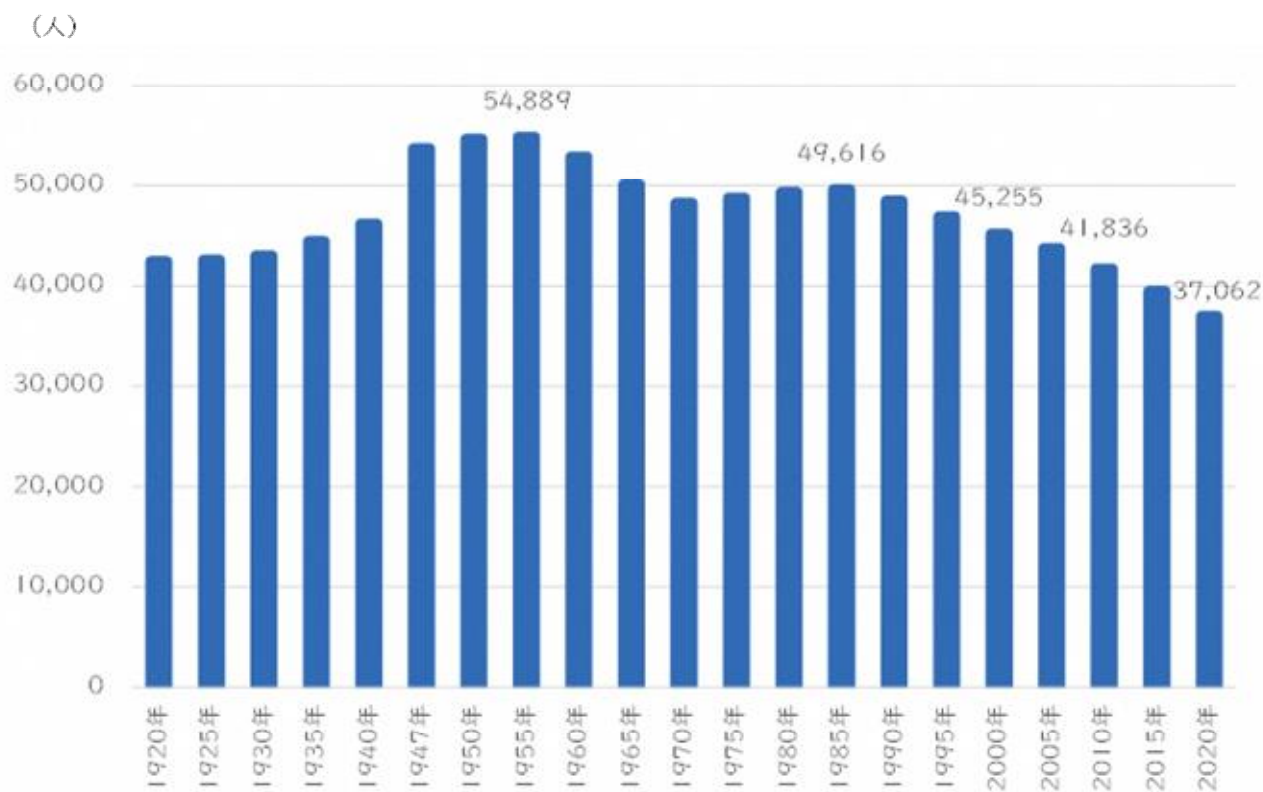
本市には、それぞれの地域性があり、交流センターを核にして独自のコミュニティの活動が根付いているとともに、まちづくり活動などに取り組む人々や団体も多く、人材の豊富なまちです。また、都市において近隣関係が希薄化しつつある中で、地域のつながりが強いまちでもあります。

(3)人口の推移

安来市の人口は減少傾向で推移しており、1985年の49,616人から、2020年には37,062人と、1985年と比較すると約25%の減少になっています。

第2次安来市総合計画策定前の10年間(2000～2010年)と策定後の10年間(2010～2020年)を比較すると、策定前の10年間では3,419人(7.6%)減少していますが、その後の10年間では 4,774人(11.4%)の減少がみられ、人口減少が加速していることがわかります。

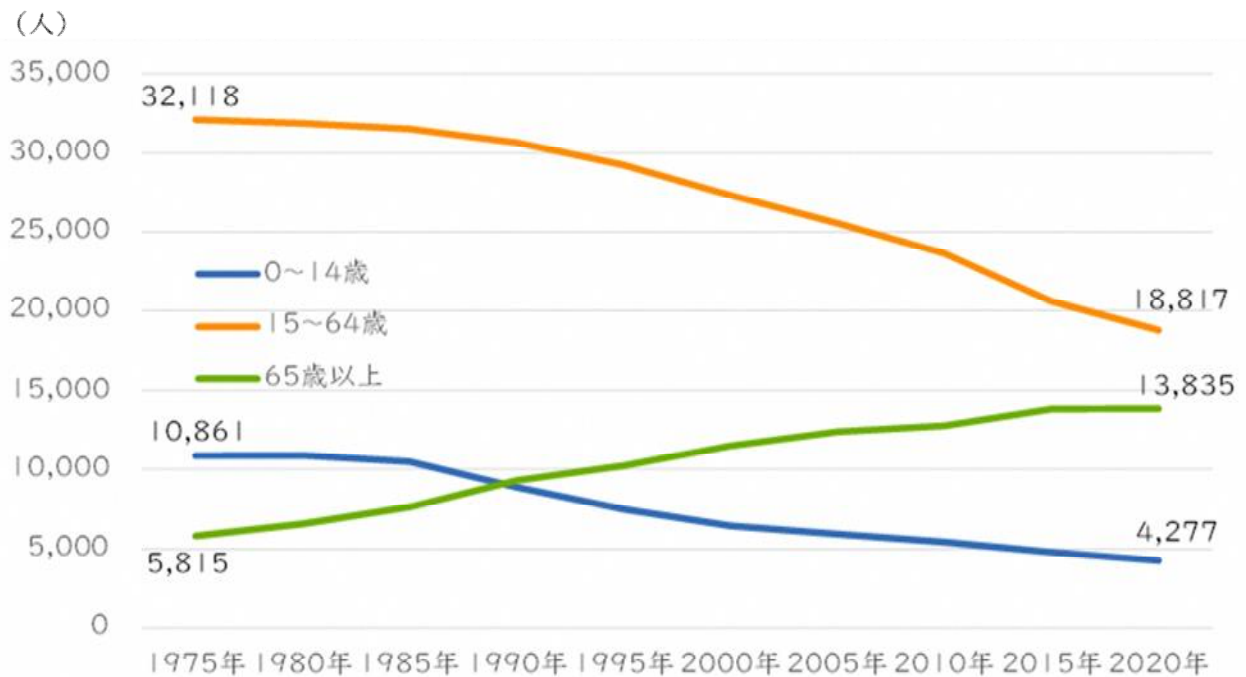
安来市の総人口の推移



※国勢調査

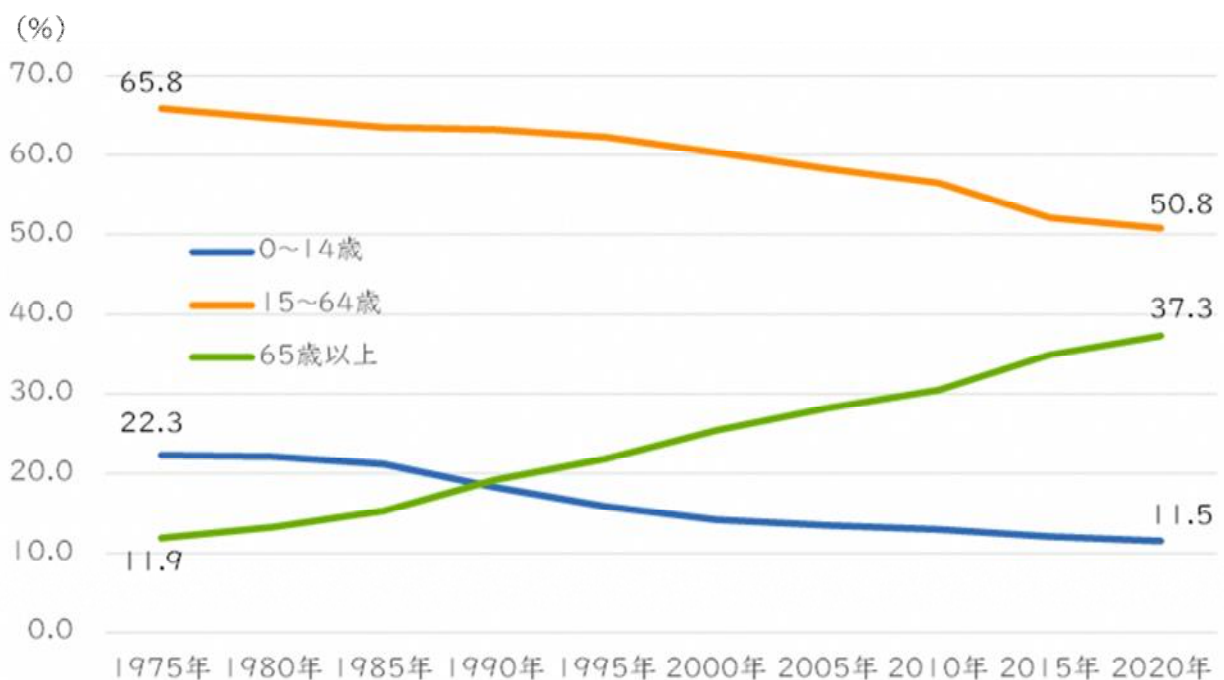
また、年齢3区分別の人口推移をみると、老年人口(65歳以上)が増加する一方で、年少人口(0～14歳)及び生産年齢人口(15～64歳)は減少が続いており、少子高齢化が進行していることがわかります。

安来市の年齢3区分別人口の推移



※国勢調査

安来市の年齢3区分別人口構成比の推移



※国勢調査

2. 総合計画について

(1) 策定の趣旨

本市では、市の最上位計画であり“本市の行財政運営の指針”として、また市民と行政がともにつくる“まちづくりのための行動指針”として、さらに計画的なまちづくりの達成状況を測る“進行管理のものさし”として「第2次安来市総合計画」を平成27年3月に策定し、将来像「人が集い 未来を拓く ものづくりと文化のまち」の実現に向けた取組を進めてきました。

この間、わが国においては、全国的な人口減少と少子高齢化の進展、若者を中心とした人口の東京圏への一極集中の加速、大規模地震や局地的な豪雨による土砂災害等の自然災害の多発化、新型コロナウイルス感染症の流行、ライフスタイルや価値観の多様化、デジタル化・DXの加速など、社会情勢は大きく変化しています。

さらに、世界的な人口増加(特に発展途上国・新興国)を背景に、食糧(生産能力)やエネルギー(石油などの化石燃料)等、限りある地球資源の不足・枯渇を危惧する意識が高まる中、2015年に17の目標と169のターゲットで構成された持続可能な開発目標(SDGs)が国連で採択され、地方自治体においてもSDGsの達成に向けた取り組みが求められています。

このような中で、住民のニーズや行政に求められる役割も大きく変化しています。

第3次安来市総合計画は、現在の社会経済情勢、地域の状況及びこれまで築きあげてきたまちづくりの成果と課題を踏まえ、安来市の新たなまちづくりの指針として定めるものです。

なお、「第3次安来市総合計画」の「前期基本計画」は、「第3期安来市創生総合戦略」と一体的に策定を行い、その取組については、本計画に包含するものとします。

(2) 第3次安来市総合計画の役割

市の最上位計画であり“本市の行財政運営の指針”

総合計画は、本市における全ての計画や施策の最上位に位置づけられる計画です。住民自治を基本としながら、目指すべき将来像を描き、将来像の実現に向けた取組の方向性を示す“本市の行財政運営の指針”としての役割があります。

市民と行政がともにつくる“まちづくりのための行動指針”

総合計画は、市民と行政が対話を重ね、協力しあう関係を生み出しつつ、目指すべき将来像の実現に向けてまちづくりを進めていくため、目標を共有する“まちづくりのための行動指針”としての役割があります。

計画的なまちづくりの達成状況を測る“進行管理のものさし”

総合計画は、本市が目指す将来像の実現に向けて取り組む内容を定めるとともに、その取組が計画的に実施されているかどうかを進行管理し、評価するためのものでもあります。目標(目指す姿)を明確にし、その目標の達成状況を測る“進行管理のものさし”としての役割があります。

(3)総合計画の構成と期間

■基本構想(10年間)

基本構想は、本市の特性、市民のニーズ、時代の潮流、本市の置かれている位置や直面する課題等を検討し、将来像や基本目標、そして、それを実現するための施策の体系等を示すものであり、令和8年度(2026年度)を初年度とし、令和17年度(2035年度)を目標年度とする10か年の長期構想です。

■基本計画(前期・後期)

基本計画は、基本構想の施策の体系に基づき、本計画期間において取り組むべき主要な施策を各分野にわたって定めています。

計画期間は、前期を令和8年度(2026年度)から令和12年度(2030年度)までの5年間、後期を令和13年度(2031年度)から令和17年度(2035年度)までの5年間とします。

また、第3期の総合戦略の計画期間は、前期基本計画に合わせて令和8年度(2026年度)から令和12年度(2030年度)までの5年間とします。

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
基本構想	令和8年度～令和17年度 (期間：10年間)									
基本計画	令和8年度～令和12年度 (前期基本計画：5年間)					令和13年度～令和17年度 (後期基本計画：5年間)				
総合戦略	令和8年度～令和12年度 (第3期総合戦略：5年間)					令和13年度～令和17年度 (第4期総合戦略：5年間)				

(4)SDGsの推進

SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された、国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成を目指す国際社会全体の17の開発目標です。

わが国においても、豊かで活力のある「誰一人取り残さない」社会を実現するため、一人一人の保護と能力強化に焦点を当てた「人間の安全保障」の理念に基づき、世界の「国づくり」と「人づくり」に貢献していくことを示す、「SDGsアクションプラン2019」が策定され、地方自治体においてもSDGsの達成に向けた取り組みが求められています。

SDGsは、総合計画の将来像を実現するための社会・経済・環境の確保に向けた“持続可能なまちづくり”の目標としても捉えることが可能です。

こうした観点から、本市では、総合計画の基本計画についてのSDGsの目標との関連を示し、各章の施策の推進と関連する目標指標の実現を図ることにより、SDGsの達成につなげていきます。



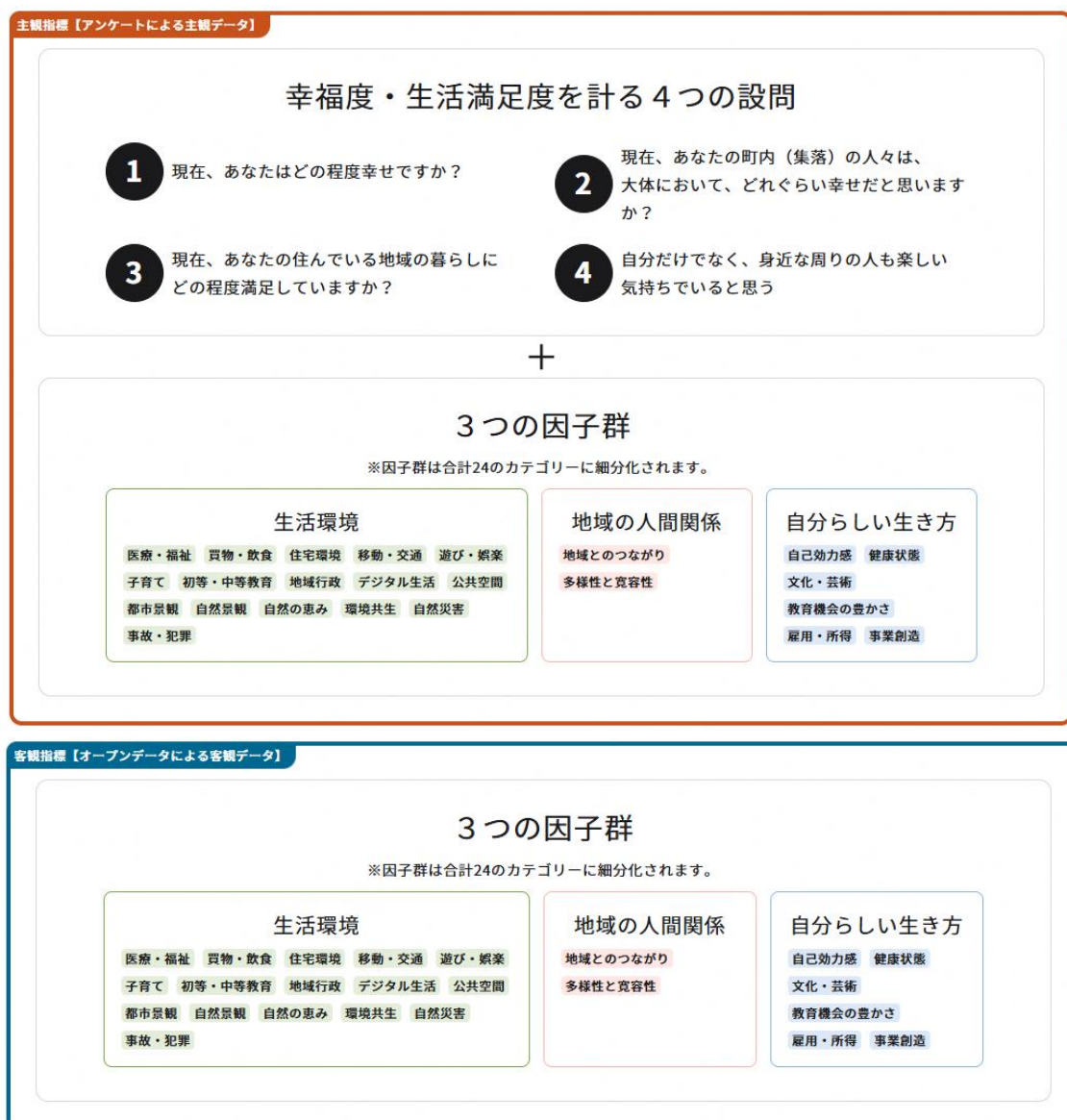
(5)地域幸福度(Well-being)指標を活用したまちづくりの推進

デジタル庁が推進する「地域幸福度(Well-Being)指標」は、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感」を数値化・可視化する取り組みです。

Well-being指標は、地域における幸福度・生活満足度を計る4つの設問と、3つの因子群(生活環境、地域の人間関係、自分らしい生き方)から構成されています。従来のまちづくりは、人口や経済指標など客観的なデータのみで評価されがちでしたが、統計データによる客観的な暮らしやすさ(客観指標)に加えて、住民の主観的な幸福感(主観指標)の視点を組み合わせることで、地域の強みと課題を俯瞰的に捉えることができます。

デジタル庁が提供するダッシュボードにより、全国の自治体との比較も可能となり、データに基づいた効果的な政策立案につなげることができます。また、住民にとっても自分たちの声が数値となって反映されることで、まちづくりへの参加意識の向上にもつながります。

本市では、総合計画の策定に当たり、Well-being指標による市民意識調査を行いました。前期基本計画や総合戦略の目標指標の設定に当たっても、この指標を活用し、市民の「心ゆたかな暮らし」に向けたまちづくりを推進していきます。



(6)総合計画審議会

■委員構成(令和6年11月22日から令和7年11月18日まで)

(順不同・敬称略)

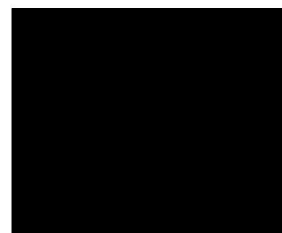
氏名	所属組織等	備考
勝部 慎哉	学識経験者	会長
高須 佳奈	島根県立大学	副会長
野々村 千映子	学識経験者	
川戸 聡也	米子工業高等専門学校	
渡部 仁	安来商工会議所	
矢田 篤	島根県農業協同組合やすぎ地区本部	
小松原 勝之	社会福祉法人 安来市社会福祉協議会	
岸川 勉	安来市自治会代表者協議会	令和7年8月1日まで
矢田 洪介		令和7年8月1日から
杉谷 健治	安来市労働組合協議会	令和7年1月17日まで
松田 英樹		令和7年1月17日から
醍醐 靖幸	安来市観光協会	
宇山 賢二	一般社団法人 安来青年会議所	令和7年6月2日まで
矢田 敦子		令和7年6月2日から
角 陽子	安来市子ども・子育て推進会議	
多胡 順子	安来市PTA連合会	令和7年6月2日まで
来海 雄馬		令和7年6月2日から
板持 潤一	やすぎボランティア団体ネットワーク	
中村 明臣	松江公共職業安定所安来出張所	
小川 俊一	安来金融会	令和7年6月2日まで
重道 直樹		令和7年6月2日から
藤井 満弘	株式会社 山陰中央新報社	
寺田 琢磨	一般公募	
石田 優美	一般公募	
中村 高志	一般公募	

安 政 第 5 4 号

令和6年11月22日

安来市総合計画審議会長 様

安来市長 田 中 武



第3次安来市総合計画について（諮問）

安来市総合計画審議会条例第2条の規定に基づき、第3次安来市総合計画について貴審議会の意見を求めます。

令和7年11月18日

安来市長 田 中 武 夫 様

安来市総合計画審議会

会長 勝部 慎哉

第3次安来市総合計画について（答申）

令和6年11月22日付けで諮問のあった標記の件について、本審議会において慎重に審議した結果をまとめましたので、別添のとおり答申します。

なお、計画の実施に当たっては、下記の事項について留意して計画実現に努められるよう要望します。

記

1. 今後の安来市のまちづくりにおいては、将来像「ワザを磨き、安らぎをつむぎ、シンカするまち」や基本姿勢「真価（真の価値を考える）・深化（つながりを深める）・進化（チャレンジを続ける）」を様々な機会を通じて市民にわかりやすく伝えるよう努めてください。その上で、市民一人ひとりがまちの将来を「自分ごと」として考え、行動できるよう、市民参画・協働の取組や、市民のチャレンジに対する後押しや機運醸成を一層進めていくことを望みます。
2. 安来市に受け継がれてきた歴史や人々の営みを大切に、市民の誇りとして次世代へ引き継いでいくために、若者や子どもたちの安来への愛着や定住意向を継続的に把握しながら、必要な施策を着実に進めることを望みます。
3. 人口減少を避けられない現実を踏まえつつも、将来人口目標の実現に向けて、子育て支援、雇用の確保・拡充、生活の質と豊かさの向上、移住・定住支援、地域のつながりづくりなどの地方創生施策を戦略的に推進することを望みます。
4. 地方創生の着実な推進と効果的な進行管理のため、事業の実施状況や目標の達成状況を市民とともに検証・改善し、その成果や課題をわかりやすく公表する仕組みを整えることを望みます。

以上

■審議会条例

○安来市総合計画審議会条例(平成17年3月23日条例第1号)

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき、市長が必要と認めるときは期間を定めて、安来市総合計画審議会(以下「審議会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 審議会は、市長の諮問に応じ、市の総合計画の策定に関し必要な調査及び審議を行う。

(組織)

第3条 審議会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

(1) 公共的団体等の代表者

(2) 識見を有する者

3 委員は、諮問に係る審議が終了したときは、解任されるものとする。

(会長及び副会長)

第4条 審議会に会長1人及び副会長1人を置き、委員のうちから互選する。

2 会長は、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(関係者の出席)

第6条 審議会は、その審議上必要があると認めるときは、審議に関係のある者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、政策担当課において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附則

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

(7)総合計画策定の経過

令和6年

日程	内容
9/23	キックオフイベント 「YASUGI Well-Being DAY!! ～みんなで『しあわせなまち』を考えよう！～」 <ul style="list-style-type: none"> 第1部:ゲストトーク「お笑い芸人の『幸福』の考え方」 第2部:みんなでトーク「多世代から見つめる『わたしにとって幸せな暮らしとは?』」
9月～10月	市民意識調査(市民(18歳以上)、高校生、中学生、WEB(誰でも))
11/22	第1回安来市総合計画審議会 <ul style="list-style-type: none"> 第3次安来市総合計画策定について

令和7年

日程	内容
2/28	第2回安来市総合計画審議会 <ul style="list-style-type: none"> 人口ビジョン(案)について(報告) 第3次安来市総合計画基本構想の方向性について(意見交換)
5/11	まちづくりワークショップ <ul style="list-style-type: none"> グループワーク①「安来の良いところ・自慢できるところを教えてください」 グループワーク②「今から10年前には想像していなかった2025年に起きていることは何ですか?」 グループワーク③「10年後、あなたはどこでどんな暮らしをしたいですか?」 グループワーク④「若者・子育て世代が安来市で暮らし続ける・Uターンしてくるために必要だと思う取組は何ですか?」
6/12	第3回安来市総合計画審議会 <ul style="list-style-type: none"> 市民ワークショップの開催結果について(報告) 第3次安来市総合計画基本構想(案)について(意見交換)
7/22, 23, 28	まちづくりタウンミーティング <ul style="list-style-type: none"> 次期総合計画基本構想案の説明・質疑応答 10年後の地域のあるべき姿について(意見交換)
8/25	第4回安来市総合計画審議会 <ul style="list-style-type: none"> タウンミーティングの開催結果について(報告) 第3次安来市総合計画基本構想(案)について(意見交換) 第3次安来市総合計画基本計画(案)について(意見交換) 第3期安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略の作成方針について(意見交換)
9/19～10/18	パブリックコメントの実施 ※意見0件
11/6	第5回安来市総合計画審議会 <ul style="list-style-type: none"> 第3次安来市総合計画基本構想(案)について(意見交換) 第3次安来市総合計画基本計画(案)について(意見交換) 第3期安来市創生総合戦略(案)について(意見交換) 答申(案)について(意見交換)



ネオ安来節

伝統芸能である「安来節」を現代風にアレンジした新しいダンスコンテンツ。安来節のコミカルな動きやユーモラスな振りはそのままに、ポップな音楽やダンスを融合させ、「安来節を世界へ!」というテーマで安来市のPRと安来節の普及のために企画されました。



鍛冶工房 弘光

江戸時代から続く鍛冶屋。刀剣鍛錬の技術を活かした日本の伝統工芸品や現代的な鉄製品を制作しています。主な作品は、デザインの燭台や行灯といった灯り工芸品、鉄のフライパンなどの新作品があり、伝統的な「鍛造」という技法で一点一点手作りされています。



SUSANOO

特殊鋼加工関連の企業グループ「SUSANOO」が、島根大学と連携し、航空機産業を目指すために開発した小型ジェットエンジンです。グループの技術力向上のためのプロジェクトの一環として、参加企業が分担して部品を製作し、協力して完成させたものです。



足立美術館

「日本一」と評される日本庭園と、横山大観を中心とした近代日本画のコレクションで知られる美術館。1970年に開館し、創設者の足立全康が収集した美術品が展示されています。また、米国の専門誌による日本庭園ランキングでは長年に渡り1位を獲得しています。



どじょうすくい踊り

郷土民謡である安来節に合わせ、どじょうをすくう仕草を面白おかしく表現した踊りです。元々は、安来の若者たちが酒盛りの際に、どじょうをすくう動作を真似て楽しんだことが起源とされ、そのユーモラスな動きが人気を博し、全国的に広まりました。



安来いちご

「章姫(あきひめ)」と「紅ほっぺ(べにほっぺ)」といった品種を中心とした完熟いちごです。こだわりは、甘さを引き出すために完熟してから収穫すること。鮮度を保つため、近隣地域のみで販売され、新鮮で質の高い、安来ならではの味が特徴です。

